

文学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー ▶

文学部横断型人文学プログラムについて ▶

- 📄 1. 横断型人文学プログラムとは
- 📄 2. 開設コースについて
- 📄 3. 受講対象者
- 📄 4. プログラム修了認定証
- 📄 5. プログラム受講・履修上の注意
- 📄 6. 科目種別と履修形態
- 📄 7. プログラム科目一覧

哲学科 ▶

📄 哲学科について

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

史学科 ▶

📄 史学科について

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

国文学科 ▶

📄 国文学科について

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

英文学科 ▶

📄 英文学科について

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

ドイツ文学科 ▶

📄 ドイツ文学科について

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

フランス文学科 ▶

📄 フランス文学科について

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

新聞学科 ▶

📄 新聞学科について

- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目担当表

文学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー

〔教育研究上の目的〕

高度な専門教育と質の高い学術研究に基づいて、人文教養の本質である人間探究を行い、もって人類の精神的遺産を将来に継承し、世界と人間を真に理解する力を養うこと

〔人材養成の目的〕

分析力・理解力・表現力の陶冶に基づいて、世界と人間の本質を洞察する根源的な知性を養い、自己実現の自覚をもちつつ主体的に思考し、世界に寄与する自律的人間を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部は、哲学・思想・歴史・文学・文化・芸術・情報・身体などを、人文学の基盤にある人間の尊厳とのかかわりのなかで研究します。人文教養を涵養することで、社会のさまざまな分野で未来を創造できる自律的な人間を養成します。また、高度な専門教育と質の高い学術研究の成果を活かして、広く社会と世界に貢献できる人を育てます。学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めており、以下の卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 人間の歴史・文化が集約された資料・情報を、自らの力で批判的に分析・解釈・評価する能力
2. 人文教養の基盤である人間性・人格性について深く考察し、十分な裏付けに基づいた自らの意見を他者に分かりやすく表現する能力
3. 日本語、外国語を問わず、言語とそれが使われる文化に対する深い理解に基づいた高度なコミュニケーション力
4. 人文教養を、社会生活、職業生活、市民生活、ひいては人生そのものに実践的かつ創造的に役立てる能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、専門分野別の学科編成をとっています。各専門分野を学ぶ学生ひとりひとりの関心を重視し、人格的關係に基づいた指導を行います。質の高い、一貫したカリキュラムを通して、学生と教員が一体となって、「人間を考える学問」としての人文学研究に取り組むことができるよう、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 学部の初年次研修で、基礎的な人文学研究の特徴・勉学態度・表現方法などを指導する。
2. 初年次から、各分野の専門教育をカリキュラムに含め、卒業時まで充実した一貫教育を行う。
3. 少人数授業やゼミナールによって、学生の自主性・分析力・理解力・表現力・対話力を集中的に養う。
4. 全学共通の外国語科目に加えて、各学科の専門的な語学教育を徹底して行う。
5. 全学科で卒業論文を必修科目として、長期間にわたる個人指導を行い、総合的な学習到達度を判定する。

6. 学科科目とは別に学科横断型のプログラムを設け、各学科の専門領域を超えた人文学の知見を広める機会を設ける。

文学部横断型人文学プログラムについて

文学部は、2015年度から「横断型人文学プログラム」(Interdepartmental Humanities Program)を開設した。指定された科目を履修し、所定の単位を取得すると、大学からの「プログラム修了認定証」が授与される。なお、14年次生以前の学生が履修を希望する場合は、7.プログラム科目一覧の末尾を参照すること。

文学部横断型人文学プログラムについて ▶

- 📖 1. 横断型人文学プログラムとは
- 📖 2. 開設コースについて
- 📖 3. 受講対象者
- 📖 4. プログラム修了認定証
- 📖 5. プログラム受講・履修上の注意
- 📖 6. 科目種別と履修形態
- 📖 7. プログラム科目一覧

1. 横断型人文学プログラムとは

本プログラムの目的は、文学部の学生が、人文学的問題意識をコアにしながら、学科の専門の枠を超えて、興味のあるテーマについて研究する機会を提供することであり、以下のような特徴がある。

- 「共通基礎科目」で、文字情報に限らない広義のテキストの読み解きの方法と、グローバルな世界での文化交渉の場において起きる現象の理解を深める。
- 学生が興味のある分野を選択し、コースごとに指定された「個別選択科目」を履修することで、当該分野の基礎知識を身に付ける。
- 「プロジェクト・ゼミ」では、専門が異なる学生との意見交換を通し、複眼的な視点から参加者が特定の問題を追究し、その成果をまとめるよう促すことで、主体的に問題を発掘・解決するアクティブ・ラーニングの環境を提供する。
- 机上の学びに終わらず、教室の外での活動や実地体験（自分の目で見ること）を重視する。

2. 開設コースについて

「身体・スポーツ文化論」「芸術文化論」「ジャパノロジー」の3コースがある。

身体・スポーツ文化論コース

「運動競技」のイメージが強い「スポーツ」であるが、その語源は紀元前5世紀頃のラテン語 *deportare*（心と身体を非日常に運ぶ、遊ぶ）にまでさかのぼり、国際オリンピック委員会の公認スポーツにはチェスやブリッジも含まれる。つまり、私たちはスポーツと無関係ではいられないのである。一方「身体」は、誰もが一生を共にしながら、客観視の難しい存在であり、非言語コミュニケーションメディアとしても大きな影響力を持っている。このような身体とスポーツの文化を学ぶことは、国際的教養への広がりや、人間の生活を真に豊かに充実させていくこと（厚生）につながる。本コースでは、身体とスポーツの文化を人文学の研究対象として取り上げ、多角的かつ総合的に考えていく。

芸術文化論コース

多種の芸術があふれる今日の世界では、その深く多様な解釈を可能にする高度な教養が求められる。本コースでは、人文学的教養によって現代社会における芸術文化の推進に貢献するための実践的な方法を探っていく。舞台、美術、音楽などの芸術文化領域で、自らが国際的教養をそなえた鑑賞者となるにとどまらず、文学部で身につける総合的な知識を、地域社会の芸術文化・教育活動等に活かし、芸術の創造・受容・普及に生産的にかかわることのできる人材となることをめざす。芸術を「読み解く」経験を積む以外にも、芸術をめぐる評論、プロデュース、キュレーション、アーカイブなどの分野の基礎的な知識を得る機会も提供する。

ジャパノロジー・コース

本コースの目的は、自明のものと考えがちな「日本文化」を、内からの視座／外からの視座で捉えなおし、再創造することにある。「内から」は、日本列島内部における多様性に注目する。日常的に使用している言葉から、衣食住、ものの感じ方や考え方に至るまで、列島各地には一括りにできない独自性が存在する。また「外から」は、世界における日本イメージの多様性を検証する。日本に対するヨーロッパ、アメリカ、アジアの視線は、それぞれ異なった固有性を持っている。それらは一体何に由来し、いかなる思いの込められたものなのか。諸外国の研究者の日本像の検討、伝統的な知識・技術や芸能を担う人々との時間の共有、フィールドワークなどによって培われる経験を通して、新たな日本の〈素顔〉を求めると。

3. 受講対象者

2015年度以降入学の学生が対象となる。

- 「共通基礎科目」および「プログラム開講科目」は（注1）、2014年度以前の入学者の受講も認めるが、「プログラム修了認定証」取得のためではなく、従来の選択科目としての履修となる。また、履修定員が定められている科目で、受講希望者が定員を超えたものについては、2015年度以降入学の学生が優先される。
- 「共通基礎科目」および「プログラム開講科目」は、他学部の学生の履修も認めるが、履修定員が定められている科目で、受講希望者が定員を超えたものについては、文学部の学生が優先される。
- 「プロジェクト・ゼミ」については、履修条件を満たした2015年度以降入学の他学部学生の履修も認める。また、必要単位を修得した場合には「プログラム修了認定証」も授与される。



注1：横断型人文学プログラムに特化して開講される科目（7.プログラム科目一覧（2）プログラム開講科目の科目表参照）

4. プログラム修了認定証

必要単位（計18単位）を修得した者には、「プログラム修了認定証」が授与される。取得の手続きに関する詳細はMy Sophiaおよび文学部ホームページ上で10月半ば頃に告知する。

5. プログラム受講・履修上の注意

【19年次生以降】

- ・プログラム修了のために履修した科目の単位のうち、自学科開講科目以外のものについては、他学部・他学科で履修した場合と同様の扱いとなり、各学科が定めた範囲内で卒業単位に含めることができる。なお、プログラム修了に必要な単位数を満たさなかった場合も、履修した科目の単位は、上記の場合と同様の扱いとなる。
- ・「プロジェクト・ゼミ」を除く科目は、「プログラム修了認定証」を希望しない場合でも履修が認められる。
- ・「プロジェクト・ゼミ」には、履修条件と選抜がある（6.科目種別と履修形態(3)の該当箇所を参照）。
- ・「プロジェクト・ゼミ」は、参加希望者が少ない場合には内容を変更することがある。

【18年次生以前】

- ・プログラム修了のために履修した科目の単位のうち、自学科開講科目以外のものについては、他学部・他学科で履修した場合と同様の扱いとなり、各学科が定めた範囲内で卒業単位に含めることができる。なお、プログラム修了に必要な単位数を満たさなかった場合も、履修した科目の単位は、上記の場合と同様の扱いとなる。
- ・「プロジェクト・ゼミ」は卒業要件に算入されない。
- ・「プロジェクト・ゼミ」を除く科目は、「プログラム修了認定証」を希望しない場合でも履修が認められる。
- ・「プロジェクト・ゼミ」には、履修条件と選抜がある（6.科目種別と履修形態(3)の該当箇所を参照）。
- ・「プロジェクト・ゼミ」は、参加希望者が少ない場合には内容を変更することがある。

【全学共通科目（高学年向け教養科目）との合併科目について】

2024年度より「世界のスポーツ・身体文化論」「東洋身体文化論」「身体・スポーツ・社会I」「身体・スポーツ・社会II」「身心論」「舞踊文化論」については、合併科目として全学共通科目（高学年向け教養科目）としても開講される。文学部横断プログラムの個別選択科目として履修する場合には、文学部開講の科目コード・登録コードであることを確認して履修登録を行うこと。

文学部開講科目名称	全学共通科目名称
世界のスポーツ・身体文化論	身体知講義（世界のスポーツ・身体文化論）
東洋身体文化論	身体知講義（東洋身体文化論）
身体・スポーツ・社会I	身体知講義（身体・スポーツ・社会I）
身体・スポーツ・社会II	身体知講義（身体・スポーツ・社会II）
身心論	身体知講義（身心論）
舞踊文化論	身体知講義（舞踊文化論）

6. 科目種別と履修形態

☐ (標準配当表)

6. 科目種別と履修形態

科目種別		履修形態	1年次		2年次		3年次		4年次	
			授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通基礎科目 (4単位)		プログラム 必修	テキストを読む 文化交渉入門		2	2				
個別 選択 科目	プログラム開講 科目 (6単位)	プログラム 選択必修	選択したコースのプログラム開講科目から 6単位を履修 *2							6
	プログラム 指定科目 および 自由選択科目 (6単位) *1	プログラム 選択	選択したコースの科目から履修 A群：プログラム科目 ・「プログラム開講科目」*2 ・「プログラム指定科目」 B群：自由選択科目							6
プロジェクト・ゼミ (2単位)		プログラム 選択必修					プロジェクト・ゼミ (選択した コースから1科目を履修)			2

*1. 履修可能年次については、科目によって異なり1年次から履修できるものもある。

*2. プログラム選択必修科目を6単位以上履修した場合、その超過分をプログラム選択の科目の単位として算入できる。

(1) 共通基礎科目

ア. 履修年次：1～2年次

イ. 履修区分：プログラム必修科目

❗ プロジェクト・ゼミの履修を希望する場合は2年次末までに4単位を修得する必要がある。同一科目の重複履修は不可。

ウ. プログラム修了に必要な単位数：計4単位

エ. 開講科目

- ・「テキストを読む」(春学期/2単位)
- ・「文化交渉入門」(秋学期/2単位)

(2) 個別選択科目

ア. 履修年次：2～4年次（一部科目は1年次生も履修可）

イ. 履修区分：

- ・「プログラム開講科目」はプログラム選択必修科目
- ・「プログラム指定科目」(注2)はプログラム選択科目

i 注2：文学部および他学部で開講されている科目のうち、プログラムの各コースで指定されたもの（7.プログラム科目一覧(3)の科目表を参照）

ウ. プログラム修了に必要な単位数：計12単位

❗ 選択したコースの「プログラム開講科目」(選択必修)を6単位以上修得しなければならない。

エ. 開講科目

下記のAあるいはBの科目群から選択する。

- ・A群 プログラム科目・・・選択したコースの「プログラム開講科目」および「プログラム指定科目」
- ・B群 自由選択科目・・・プログラム科目以外に履修した科目で、選択したコースの内容に合致する科目があれば、それを申告する。そしてそれがプログラム運営委員会で認定されれば、自由選択科目となる。(認定申請の方法については、文学部で配布する「文学部横断型人文学プログラム履修ガイドブック」を参照すること。)

(3) プロジェクト・ゼミ

ア. 履修学年：原則として3年次以上（履修条件による制限あり）

イ. 履修区分：プログラム選択必修

ウ. プログラム修了に必要な単位数：2単位

エ. 開講科目（7.プログラム科目一覧(2)の科目表参照）

- ・「プロジェクト・ゼミ（身体・スポーツ文化論コース）」
- ・「プロジェクト・ゼミ（芸術文化論コース）」
- ・「プロジェクト・ゼミ（ジャパノロジー・コース）」

オ. 履修条件

❗ 「プロジェクト・ゼミ」を履修するためには以下の①～④を満たしている必要がある。

①3年次生以上

②2年次末までに「共通基礎科目」（4単位）を修得済み、または修得見込みの者

- ③申請時のGPAが2.5以上
 - ④以下カ.の書類審査に通った者
- カ. 選考時期および履修申請方法

オの①～③の履修条件を満たした者は、春学期ゼミを希望する場合は前年度の3月に、秋学期ゼミを希望する場合は当該年度の8月までに、成績表および履修動機、履修計画等を記載した申請書類を提出すること。プログラム運営委員会で審査し、選考結果を学生へ通知する。

提出締切日

2025年度秋学期ゼミの場合：2025年9月10日（水）

2026年度春学期ゼミの場合：2026年3月31日（火）

提出先

【2025年度版】文学部横断型人文学プログラム履修ガイドブック」を参照のこと。

申請用提出書類、選考通過後の履修登録方法等詳細については、「【2025年度版】文学部横断型人文学プログラム履修ガイドブック」を参照のこと。ガイドブックは、2025年4月以降、文学部長室で入手可能である。

また、文学部ホームページ（<https://www.sophia-humanities.jp>）でも必要事項を掲示する。

上記募集で人数的に十分な余裕がある場合、追加募集をすることがある。その時期および応募要領は、My Sophia(学科・専攻別掲示板)と文学部ホームページに掲示する。

7. プログラム科目一覧

7. プログラム科目一覧[文学部横断型人文学プログラム]

(1) 共通基礎科目

科目種別	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
(プログラム必修) 共通基礎科目	120010	HUM201-12j00	テキストを読む	2	春	コーディネータ 杉尾 一	1・2		輪講、[150名]
	120011	HUM202-12m00	文化交渉入門	2	秋	コーディネータ 山本 章博	1・2		輪講、[150名]

(2) プログラム開講科目

科目種別	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
個別選択科目 (プログラム選択必修)	身体・スポーツ文化論コース	121003	HUM301-12j00	世界のスポーツ・身体文化論	2	休講		2~4	隔年開講、全学共通科目「身体知講義(世界のスポーツ・身体文化論)」との合併科目
		121004	HUM302-12j00	東洋身体文化論	2	休講		2~4	隔年開講、全学共通科目「身体知講義(東洋身体文化論)」との合併科目、ジャパノロジー・コースと共通
		121005	HUM303-12j00	身体・スポーツ・社会Ⅰ	2	秋	コーディネータ 竹村 りょうこ	2~4	輪講、隔年開講、全学共通科目「身体知講義(身体・スポーツ・社会Ⅰ)」との合併科目、[30名]
		121006	HUM304-12j00	身体・スポーツ・社会Ⅱ	2	秋	コーディネータ 今若 太郎	2~4	輪講、隔年開講、全学共通科目「身体知講義(身体・スポーツ・社会Ⅱ)」との合併科目、[30名]
		121007	HUM305-12j00	身心論	2	秋	コーディネータ 斐 芝允	2~4	輪講、隔年開講、全学共通科目「身体知講義(身心論)」との合併科目、[15名]
		121008	HUM306-12j00	舞踊文化論	2	休講		2~4	輪講、隔年開講、全学共通科目「身体知講義(舞踊文化論)」との合併科目、芸術文化論コースと共通
		122001	HUM307-12j00	舞台芸術の世界	2	春	コーディネータ 博多 かおる	2~4	輪講、3年に1度開講、[120名]
		122002	HUM308-12j00	音楽文化論	2	春	*井上 果歩	2~4	3年に1度開講
芸術文化論コース	122009	HUM312-12j00	芸術・メディアとアーカイブ	2	休講		2~4	輪講、3年に1度開講	
	121008	HUM306-12j00	舞踊文化論	2	休講		2~4	輪講、隔年開講、全学共通科目「身体知講義(舞踊文化論)」との合併科目、身体・スポーツ文化論コースと共通	
	122010	HUM313-12j00	美術文化論	2	休講		2~4	3年に1度開講	
	122006	HUM309-12j00	造形芸術の世界	2	休講		2~4	輪講、3年に1度開講	
	122007	HUM310-12j00	映像文化論	2	休講		2~4	3年に1度開講	
	122008	HUM311-12j00	映像芸術の世界	2	秋	コーディネータ 田島 優子	2~4	輪講、3年に1度開講、[120名]	
	123001	HUM314-12j00	ジャパノロジー概論	2	春	コーディネータ 大川 裕子	2~4	輪講、[70名]	
	123002	HUM315-12j00	フィールドワーク入門	2	秋	コーディネータ 加賀谷 真梨	2~4	輪講、隔年開講、[50名]	
ジャパノロジー・コース	123003	HUM316-12j00	ヨーロッパとNIPPON	2	春	コーディネータ SCHELLETTER Chris	2~4	輪講、隔年開講	
	123004	HUM317-12j00	日中文化交渉史A	2	休講		2~4	隔年開講	
	123005	HUM318-12j00	日中文化交渉史B	2	秋	長尾 直茂	2~4	隔年開講	
	123006	HUM319-12j00	キリシタン文化史A	2	休講		2~4	隔年開講	
	123008	HUM321-12j00	日本思想	2	秋	*白井 雅人	2~4		
	123009	HUM322-12j00	日本思想テキスト演習	2	休講		2~4	隔年開講	
	123010	HUM323-12j00	多様性の日本民俗文化	2	秋	*松尾 恒一	2~4	隔年開講、[43名]	
	121004	HUM302-12j00	東洋身体文化論	2	休講		2~4	隔年開講、全学共通科目「身体知講義(東洋身体文化論)」との合併科目、身体・スポーツ文化論コースと共通	

プロジェクト・ゼミ (プログラム選択必修)	身体・スポーツ文化論コース	121110	HUM401-12j00	プロジェクト・ゼミA (身体・スポーツ文化論コース)	2	休講		3・4	3年に1度開講、選抜あり
		121111	HUM402-12j00	プロジェクト・ゼミB (身体・スポーツ文化論コース)	2	休講		3・4	3年に1度開講、選抜あり
		121112	HUM403-12j00	プロジェクト・ゼミC (身体・スポーツ文化論コース)	2	春	島 健	3・4	3年に1度開講、選抜あり
	芸術文化論コース	122101	HUM404-12j00	プロジェクト・ゼミA (芸術文化論コース)	2	春	山本 成生	3・4	3学期毎に開講、選抜あり
		122201	HUM405-12j00	プロジェクト・ゼミB (芸術文化論コース)	2	秋	飯野 友幸	3・4	3学期毎に開講、選抜あり
		122202	HUM406-12j00	プロジェクト・ゼミC (芸術文化論コース)	2	休講		3・4	3学期毎に開講、選抜あり
	ジャズ・パノロジーコース	123101	HUM407-12j00	プロジェクト・ゼミA (ジャズ・パノロジーコース)	2	休講		3・4	3学期毎に開講、選抜あり
		123102	HUM408-12j00	プロジェクト・ゼミB (ジャズ・パノロジーコース)	2	春	寺田 俊郎	3・4	3学期毎に開講、選抜あり
		123103	HUM409-12j00	プロジェクト・ゼミC (ジャズ・パノロジーコース)	2	秋	本廣 陽子	3・4	3学期毎に開講、選抜あり

※1 個別選択科目に関して、機械抽選以外の科目でも、履修者過多の場合は、授業内抽選を行う可能性がある。
その場合、コース履修者を優先する。

(3) プログラム指定科目

プログラム指定科目は、年度により科目の変更（追加・削除）があるので、各自、履修年度の要覧によって科目を確認すること。

科目種別	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
個別選択科目 (プログラム選択)	身体・スポーツ文化論コース	GSB20050	HPE202-02j00	知としての身体を考える	2				全学共通科目
		GSB20070	HPE204-02j00	共生する社会と身体・スポーツ	2				全学共通科目
		GSB20080	HPE205-02j00	パラアスリートと考える障がい者スポーツと共生社会	2				全学共通科目
		GSB20330	HPE230-02j00	身体知演習 ボディーワーク	2				全学共通科目
		GSB20340	HPE231-02j00	身体知演習 ヨガ	2				全学共通科目
		GSB20360	HPE233-02j00	ソマティック (身心) 教育入門	2				全学共通科目
		GSB20510	HPE248-02j00	スポーツと身体の社会学	2				全学共通科目
		GSB20560	HPE253-02j00	スポーツ文化論	2				全学共通科目
		GSB30080	HPE302-02j00	食と農と身体	2				全学共通科目
	GSB30090	HPE301-02j00	身体をととして文化を知る	2				全学共通科目	
	芸術文化論コース	GSP20010	HUM203-02j00	音楽の歴史 I	2				全学共通科目
		GSP20020	HUM204-02j00	音楽の歴史 II	2				全学共通科目
		970738	THE225-91j00	キリスト教と音楽芸術 I	2				神学部
		970739	THE226-91j00	キリスト教と音楽芸術 II	2				神学部
		970743	THE229-91j00	キリスト教建築 I	2				神学部
		970744	THE230-91j00	キリスト教建築 II	2				神学部
		970745	THE231-91j00	キリスト教の美術 I	2				神学部
		970746	THE232-91j00	キリスト教の美術 II	2				神学部
		127905	PHL335-11j00	芸術学 I	2				哲学科
127906		PHL336-11j00	芸術学 II	2				哲学科	
127206		PHL329-11j00	美学 I	2				哲学科	
127207		PHL330-11j00	美学 II	2				哲学科	
162605		ART301-14j00	日本美術史	2				史学科	
165701		ART302-14j00	東洋美術史	2				史学科	
174004		ART303-14j00	西洋美術史	2				史学科	
214530		ELT309-16m00	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2		飯野 友幸	2~4		英文学科※2
214533		ELT312-16e00	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES IN ENGLISH 2	2		NG Lay Sion	2~4	○	英文学科※2
214741		ELT321-16m00	ADAPTATION STUDIES 1	2		杉野 健太郎	2~4		英文学科※2
214431		ELT304-16e00	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 1	2		CHEETHAM Dominic	2~4	○	英文学科※2
226031	CUL301-17m00	ドイツ文化研究 I a	2					ドイツ文学科	
226032	CUL302-17m00	ドイツ文化研究 I b	2					ドイツ文学科	
226033	CUL303-17m00	ドイツ文化研究 II a	2					ドイツ文学科	
226034	CUL304-17m00	ドイツ文化研究 II b	2					ドイツ文学科	
226035	CUL305-17m00	ドイツ文化研究 III a	2					ドイツ文学科	
226036	CUL306-17m00	ドイツ文化研究 III b	2					ドイツ文学科	

226038	AEU301-17m00	ドイツ文化研究IVb	2			ドイツ文学科
247720	ART301-18j00	フランス美術論 I	2			フランス文学科
247721	ART302-18j00	フランス美術論 II	2			フランス文学科
247732	CUL303-18j00	舞台芸術論 I	2			フランス文学科
247733	CUL304-18j00	舞台芸術論 II	2			フランス文学科
247705	CUL301-18j00	フランス映画論 I	2			フランス文学科
247706	CUL302-18j00	フランス映画論 II	2			フランス文学科
263204	JRN209-19j00	映画論 I	2			新聞学科
263205	JRN210-19j00	映画論 II	2			新聞学科
265241	JRN327-19j00	メディアと文化 I a (表象文化論)	2			新聞学科
265242	JRN328-19j00	メディアと文化 I b (表象文化論)	2			新聞学科
265262	JRN332-19j00	デジタルアーカイブ論	2			新聞学科、但し新聞学科生による履修に限る。
501370	AEU305-50j00	シェイクスピア演劇	2			外国語学部
539303	AEU319-50j00	ドイツ音楽	2			外国語学部
538501	AEU315-50j00	ドイツ語圏美術	2			外国語学部
690193	ART327-50j00	フランス美術史特論	2			外国語学部
575260	ARE305-50m00	ロシア演劇A	2			外国語学部
575240	ARE303-50m00	ロシア演劇B-1	2			外国語学部
575111	ARE301-50j00	ロシア芸術 (音楽) A	2			外国語学部
575131	ARE302-50j00	ロシア芸術 (音楽) B	2			外国語学部
558880	AEU342-50j00	西美術史概論	2			外国語学部
558890	AEU343-50j00	西美術史特論	2			外国語学部
583410	ALA311-50m00	ポップカルチャー論	2			外国語学部
ART201	ART201-65e00	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 1 (美術論入門)	4			国際教養学科
ART250	ART250-65e00	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 2 (日本美術論入門)	4			国際教養学科
ジャパノロジー・コース	GSP21630	CLT205-02j00	中国古典入門 I	2		全学共通科目
	GSP21640	CLT206-02j00	中国古典入門 II	2		全学共通科目
	GSP21650	CLT207-02j00	中国古典入門 III	2		全学共通科目
	GSB20300	HPE227-02j00	日本の身体技法の理論と実践	2		全学共通科目
	GSB20310	HPE228-02j00	ヨーガの理論と実践-ラー ジャヨーガからヨーガの日本の展開-	2		全学共通科目
	129001	PHL340-11j00	仏教思想	2		哲学科
	170430	HST305-14j00	歴史学特講 (日本仏教史)	2		史学科
	170440	HST306-14j00	歴史学特講 (日欧交渉史)	2		史学科
	162605	ART301-14j00	日本美術史	2		史学科
	186822	CUL101-15e00	日本文化史 I	2		国文学科
	186821	CUL102-15e00	日本文化史 II	2		国文学科
	226037	CUL301-17m01	ドイツ文化研究IVa (日独文化交流)	2		ドイツ文学科

※2 同一名称科目で他教員担当の科目は対象外なので注意すること。

* 上記開講科目担当表(1) (2) (3)にあげた科目については、現在予定されているものである。科目名、内容については変更の可能性がある。

☐ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧 [ガイド・資料編] を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
HUM	HUMANITIES	人文学

【2014年次生以前の学生の履修について】

2014年度以前の入学者は、2015年度から開設された横断型人文学プログラムの開設科目（プロジェクト・ゼミを除く）を履修することができるが、「プログラム修了認定証」は与えられない。

また、これらの科目を履修し修得した単位のうち、自学科開講科目以外のものについては、他学部・他学科開講科目を履修した場合と同様の扱いとなる。

哲学科

哲学科

📄 哲学科について

📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📄 2. 標準配当表

📄 3. 履修上の注意

📄 4. 開講科目担当表

哲学科について

〔教育研究上の目的〕

建学の精神である上智の探求philosophiaに基づき、古今の哲学思想や哲学的問題をその本質から学ぶことによって、優れた思考力・理解力・表現力を養うこと

〔人材養成の目的〕

哲学・倫理・美学・宗教等の研究者及び教育者を育成するとともに、他者のために、他者とともに生きる自立的な人格を育成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、建学の精神である上智の探究（philosophia）の理念に基づき、哲学・思想を根本から研究することによって、人間と世界に関する広く深い理解をもって現代社会に貢献できる人格の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 人間と世界をめぐる哲学的問題、なかでも「真」「善」「美」という基本的価値をめぐる哲学的問題の内容と意味を十分に理解し、それらを自ら考える能力
2. 哲学的問題を探求してきた人類の歩みに関する十分な知識・教養をもち、その探究の継承者としての自覚と責任をもって探究を続ける能力
3. 哲学的問題を自ら考えかつ他の人々と共に考え、哲学の古典文献を原語で読解する能力
4. 現代社会の諸事象の根底にある哲学的問題を洞察し、それを哲学的な知識・教養および思考力を基盤として探究し、その成果を説得的に表現する能力
5. 以上の哲学的知識・技能・態度を基盤として、自律的に〈他者のために、他者とともに〉生きることによって、多様なものが共生する世界に貢献する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 「体系的な科目」（「人間論」「認識論」「自然神学」「形而上学」「倫理学」「美学」）により、哲学の諸問題に関する体系的な理解と、それらをめぐる哲学的な思考力を養う。
2. 「哲学史科目」（「古代哲学史」「中世哲学史」「近世哲学史」「現代哲学史」）により、人類の哲学的探究の歩みに関する知識と教養を養う。
3. 「演習科目」および「文献講読」により、哲学的な問題を討論・対話を通じて探求する技法と作法、哲学的文献の読解の技能、およびそれに必要な外国語の技能を養う。
4. 「哲学思想系列」「倫理学系列」「芸術文化系列」の三系列に配置された「系列科目」により、一人一人の哲学的関心を系統的に方向づけ、主体的に研究に取り組む技法と作法を養う。

5. 「卒業論文指導」「卒業論文」により、探究を自律的に計画・遂行し、その成果を公共的・学術的に表現する技法と作法を養う。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

卒業要件の単位数は、哲学思想・倫理学・芸術文化の3系列とも同じ

22年次生以降（合計124単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 8単位 [キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
- ・ 選択必修 6単位 [キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
- ・ 選択 12単位

語学科目 4単位

- ・ 必修 4単位

学科科目 94単位

ドイツ語選択者

- ・ 学科専門科目（必修 28単位、選択必修 34単位、選択 32単位）

フランス語・英語選択者

- ・ 語学科目（選択必修） 4単位
- ・ 学科専門科目（必修 28単位、選択必修 30単位、選択 32単位）

17～21年次生（合計124単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体 2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修 4単位

学科科目 94単位

ドイツ語選択者

- ・ 学科専門科目（必修 28単位、選択必修 34単位、選択 32単位）

フランス語・英語選択者

- ・ 語学科目（選択必修） 4単位
- ・ 学科専門科目（必修 28単位、選択必修 30単位、選択 32単位）

2. 標準配当表

[哲学科]標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリベラルアーツ	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
課題・視座・立場性を考える		2						
選択必修 (6単位)		キリスト教人間学	2			高学年向け科目	4	
選択 (12単位)	※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位のみに充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される							

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
(4単位) 語学科目 (注1)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目 独…ドイツ語選択者 仏…フランス語選択者 英…英語選択者

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	語学科目選択必修 (0または4単位) (注1)	独	特になし					0		
		仏	フランス語					4		
		英	ドイツ語、フランス語、ラテン語から選択					4		
	必修 (28単位)		哲学入門 古代哲学史	4 4	中世哲学史 近世哲学史 哲学演習ⅡA/ⅡB (注2)	4 4 4	形而上学(哲思) 倫理学(倫理) 美学(芸文)	4	卒業論文指導 卒業論文	1 3
		選択必修 (30または34単位)		哲学演習Ⅰ	4			文献講読・演習文献講読		8
	選択 (32単位)	独	ドイツ語Ⅰ	6	ドイツ語Ⅱ	6	※文献講読(原則として左記の選択必修で選択した言語の文献講読(注3))および演習文献講読の中から8単位			
		仏	フランス語Ⅰ	4	フランス語Ⅱ	4	全系列共通の選択必修科目及び系列別(哲学思想・倫理学・芸術文化)選択必修科目10単位		10	
		英	英語Ⅰ	4	文献講読(英語2年用)	4				
	選択 (32単位)	独	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位のみに充当できる。哲学科開講の外国語(英語Ⅰ、文献講読(英語2年)、フランス語Ⅰ、Ⅱ、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)を計4単位まで卒業単位のみに充当できる。							32
		仏	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位のみに充当できる。哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから、計4単位(英語Ⅰ、文献講読(英語2年)、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)まで、または計6単位(ドイツ語Ⅰ、Ⅱ)まで卒業単位のみに充当できる。							32
英		自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位のみに充当できる。哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから、計4単位(フランス語Ⅰ、Ⅱ、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)まで、または計6単位(ドイツ語Ⅰ、Ⅱ)まで卒業単位のみに充当できる。							32	

(注1) 全学共通科目の選択としての語学科目、語学科目必修(ACADEMIC COMMUNICATION 1、2)および語学科目選択必修のドイツ語、フランス語の履修方法については、「語学科目」のページを参照。

(注2) 哲学演習ⅡA・ⅡBについては各系列のものを履修すること。

(注3) 選択必修で選択した言語以外の文献講読の履修を希望する場合、事前に必ず学科長へ相談すること。

[哲学科]標準配当表

20～21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位注1)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2 (注1)	2 2					

○ 学科科目 独…ドイツ語選択者 仏…フランス語選択者 英…英語選択者

区分	1年次		2年次		3年次		4年次			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
学科科目 (94単位)	語学科目選択必修 (4単位注1)	独	特になし					0		
		仏	フランス語					4		
		英	ドイツ語、フランス語、ラテン語から選択					4		
	必修 (28単位)		哲学入門 古代哲学史	4 4	中世哲学史 近世哲学史 哲学演習ⅡA/ⅡB (注2)	4 4 4	形而上学(哲思) 倫理学(倫理) 美学(芸文)	4	卒業論文指導 卒業論文	1 3
	選択必修 (30または34単位)		哲学演習Ⅰ	4			文献講読・演習文献講読		8	
		独	ドイツ語Ⅰ	6	ドイツ語Ⅱ	6	※文献講読(原則として左記の選択必修で選択した言語の文献講読(注3))および演習文献講読の中から8単位			
		仏	フランス語Ⅰ	4	フランス語Ⅱ	4				
		英	英語Ⅰ	4	文献講読(英語2年用)	4		全系列共通の選択必修科目及び系列別(哲学思想・倫理学・芸術文化)選択必修科目10単位		10
	選択 (32単位)	独	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。哲学科開講の外国語(英語Ⅰ、文献講読(英語2年)、フランス語Ⅰ、Ⅱ、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)を計4単位まで卒業単位に充当できる。						32	
		仏	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから、計4単位(英語Ⅰ、文献講読(英語2年)、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)まで、または計6単位(ドイツ語Ⅰ、Ⅱ)まで卒業単位に充当できる。						32	
	英	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位に充当できる。哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから、計4単位(フランス語Ⅰ、Ⅱ、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)まで、または計6単位(ドイツ語Ⅰ、Ⅱ)まで卒業単位に充当できる。						32		

(注1) 全学共通科目の選択としての語学科目、語学科目必修(ACADEMIC COMMUNICATION 1、2)および語学科目選択必修のドイツ語、フランス語の履修方法については、「語学科目」のページを参照。

(注2) 哲学演習ⅡA・ⅡBについては各系列のものを履修すること。

(注3) 選択必修で選択した言語以外の文献講読の履修を希望する場合、事前に必ず学科長へ相談すること。

[哲学科]標準配当表

17～19年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科学科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる(17年次生のみ) ※ 語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位注1)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2 (注1)	2 2					

○ 学科学科目 独…ドイツ語選択者 仏…フランス語選択者 英…英語選択者

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科学科目 (94単位)	語学科目選択必修 (0または4単位注1)	独	特になし					0	
		仏	フランス語					4	
		英	ドイツ語、フランス語、ラテン語から選択					4	
	必修 (28単位)	哲学入門	4	中世哲学史 近世哲学史 哲学演習ⅡA/ⅡB (注2)	4	形而上学(哲思) 倫理学(倫理) 美学(芸文)	4	卒業論文指導	1
		古代哲学史	4					卒業論文	3
	選択必修 (30または34単位)	哲学演習Ⅰ	4			文献講読・演習文献講読		8	
		独	ドイツ語Ⅰ	6	ドイツ語Ⅱ	6	全系列共通および各系列の選択必修		
		仏	フランス語Ⅰ	4	フランス語Ⅱ	4			
		英	英語Ⅰ	4	文献講読 (英語2年用)	4			
	選択 (32単位)	独	自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位の充当できる。 哲学科開講の外国語(英語Ⅰ、文献講読(英語2年)、フランス語Ⅰ、Ⅱ、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)を計4単位まで卒業単位の充当できる。						32
仏		自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位の充当できる。 哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから、計4単位(英語Ⅰ、文献講読(英語2年)、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)まで、または計6単位(ドイツ語Ⅰ、Ⅱ)まで卒業単位の充当できる。						32	
英		自学科他系列および他学部・他学科開講科目を32単位まで選択科目として卒業単位の充当できる。 哲学科開講の外国語のうち学科選択必修で選択していないものから、計4単位(フランス語Ⅰ、Ⅱ、ラテン語Ⅰ、Ⅱ)まで、または計6単位(ドイツ語Ⅰ、Ⅱ)まで卒業単位の充当できる。						32	

(注1) 全学共通科目の選択としての語学科目、語学科目必修(ACADEMIC COMMUNICATION 1、2)および語学科目選択必修のドイツ語、フランス語の履修方法については、「語学科目」のページを参照。
(注2) 哲学演習ⅡA・ⅡBについては各系列のものを履修すること。

3. 履修上の注意

① 学科科目について

1. 他学部・他学科の学科科目〔語学科目、哲学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習を除く課程科目（科目コード620000番台）を含む〕は、どの語学選択者も32単位まで、選択科目として卒業単位に充当することができる。
2. 選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目として卒業単位に充当することができる。
3. 自学科他系列の必修科目ないし選択必修科目を履修した場合、学科科目の選択科目として卒業単位に充当することができる。

② 語学科目及び哲学科開講の外国語科目について

1. 必修語学（ACADEMIC COMMUNICATION 1、2）および哲学科選択必修の外国語科目の単位は、すべて1・2年次の間に履修すること。
2. 【仏・英選択者】学科科目の選択必修でフランス語を選択した学生はフランス語を、英語を選択した学生はドイツ語もしくはフランス語、ラテン語から1言語を、語学科目選択必修として4単位履修しなければならない。なお、ドイツ語及びフランス語は言語教育研究センター開講の科目を履修すること。（「語学科目について」参照）
3. 哲学科開講の外国語（学科科目の選択必修で履修していないもの）をあわせて4単位（英語I、文献講読（英語2年）、フランス語I、II、ラテン語I、II）ないし6単位（ドイツ語I、II）まで学科の選択科目として卒業単位に算入することができる。

③ 卒業論文について

1. まず卒業論文のテーマと指導教員に関し、卒業前年度の10月下旬の所定期日までに「哲学科卒業論文指導教員希望票」の登録を行う。さらに、卒業年度の4月下旬の所定期日までに「哲学科卒業論文本登録票」の登録を行う。手続きの詳細に関しては、年度初頭の在校生学科別ガイダンス時に説明するので、その指示に従うこと。
2. 卒業年度の春学期に「卒業論文指導」を、同じ年度の秋学期に「卒業論文」を履修する。それぞれの科目は、他の科目と同様にLoyolaで履修登録しなければならない。ただし、留学・休学・9月卒業等やむを得ない事情で指定学期に履修できない場合は、履修登録期間前に必ず学科長に相談すること。
3. 「卒業論文指導」の評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
4. 装丁についてはできるだけA4版とし、頁が散逸しないようしっかり綴じること。
5. 提出要領（期間、場所、時間）はMy Sophiaに掲示する。厳守すること。
なお、提出期間は2025年12月8日（月）～12日（金）とする。
6. 「卒業論文指導」、「卒業論文」は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。

④ 開講科目担当表備考欄注について

1. 神学部に進学を希望する学生は、これらの科目を履修すること。
2. 神学部に進学を希望する学生は、これらの科目から6単位を履修すること。

⑤ カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。重複履修は認められない。

2016年度以前の開講科目		2017年度以降の開講科目	
126613	倫理学研究演習I	126615	倫理学研究演習*
126614	倫理学研究演習II	126615	倫理学研究演習*
127907	芸術学研究演習I	127909	芸術学研究演習*
127908	芸術学研究演習II	127909	芸術学研究演習*
124764	演習文献講読IV	123009	日本思想テキスト演習*

2018年度以前の開講科目		2019年度以降の開講科目	見出し
128005	現代哲学	128006	現代哲学A*
128005	現代哲学	128007	現代哲学B*

*読み替えの対象科目ではあるが、旧科目との重複履修を認める。

⑥ その他

重複履修可能な科目（2度以上履修しても卒業に必要な単位数に算入することができる科目）に関しては、開講科目担当表・備考欄のマーク（+）を参照すること。

ただし、2025年次生以降、系列別選択必修科目の重複分は選択科目に算入する。

⑦ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

❗ 注1) 春学期・秋学期が履修登録単位数上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

❗ 注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	-
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

i 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

⑧ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧[ガイド・資料編]を参照すること。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
LAT	LATIN	ラテン語
PHIL	PHILPHILOSOPHY	哲学
TCP	TEACHER-TRAINING COURSE PROGRAM	教職科目

◎ 文学部横断型人文学プログラムについて

15年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」を参照すること。

4. 開講科目担当表

開講科目担当表 [哲学科]

学科科目（必修科目）・・・28単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	哲学思想系列	121227	PHL203-11j00	哲学演習Ⅱ（哲思）A	2	春	杉尾 一	2	
		121228	PHL204-11j00	哲学演習Ⅱ（哲思）B	2	秋	川口 茂雄	2	
		120704	PHL303-11j00	形而上学Ⅰ	2	春	長町 裕司	3・4	3.履修上の注意④-1参照
		120705	PHL304-11j00	形而上学Ⅱ	2	秋	佐藤 直子	3・4	3.履修上の注意④-2参照
	倫理学系列	121229	PHL205-11j00	哲学演習Ⅱ（倫理）A	2	春	荻野 弘之	2	
		121230	PHL206-11j00	哲学演習Ⅱ（倫理）B	2	秋	鈴木 伸国	2	
		126802	PHL327-11j00	倫理学Ⅰ	2	春	寺田 俊郎	3・4	3.履修上の注意④-1参照
		126803	PHL328-11j00	倫理学Ⅱ	2	秋	寺田 俊郎	3・4	3.履修上の注意④-2参照
	芸術文化系列	121231	PHL207-11j00	哲学演習Ⅱ（芸文）A	2	春	長町 裕司	2	
		121232	PHL208-11j00	哲学演習Ⅱ（芸文）B	2	秋	青田 麻未	2	
		127206	PHL329-11j00	美学Ⅰ	2	春	青田 麻未	3・4	
		127207	PHL330-11j00	美学Ⅱ	2	秋	青田 麻未	3・4	
	全系列共通	120104	PHL101-11e00	哲学入門	4	春	長町 裕司	1	
		125701	PHL220-11j00	古代哲学史	4	秋	荻野 弘之	1	
		128301	PHL227-11j00	中世哲学史	4	春	佐藤 直子	2	
		128110	PHL226-11j00	近世哲学史	4	秋	川口 茂雄	2	
		121001	GRP401-11j00	卒業論文指導	1	1Q	各担当教員	4	留学・海外研修該当者のみ履修可
		121001	GRP401-11j00	卒業論文指導	1	2Q	各担当教員	4	留学・海外研修該当者のみ履修可
		121001	GRP401-11j00	卒業論文指導	1	春	各担当教員	4	
121002		GRP402-11j00	卒業論文	3	秋	各担当教員	4		
121001		GRP401-11j00	卒業論文指導	1	秋	各担当教員	4		
121002		GRP402-11j00	卒業論文	3	春	各担当教員	4		

語学科目選択必修・・・【17年次以降】ドイツ語選択者・・・0単位、仏・英選択者・・・4単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目			ラテン語、言語教育研究センター開講のドイツ語、フランス語	4			1～4		（ドイツ語・フランス語選択者以外）学科必修で選択していない外国語を選択できる。履修方法については、「語学科目」のページを参照。

学科科目（選択必修科目）・・・ドイツ語選択者・・・34単位、仏・英選択者・・・30単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	外国語科目	ドイツ語選択者・・・12単位 英語、ラテン語（16年次生以前のみ）、フランス語選択者・・・8単位								
		122109	PHL104-11j00	ドイツ語ⅠA	3	春	正木・*清水	1		（ドイツ語選択者）
		122110	PHL105-11j00	ドイツ語ⅠB	3	秋	正木・*清水	1		（ドイツ語選択者） ドイツ語ⅠA既習者対象
		122111	PHL212-11j00	ドイツ語ⅡA	3	春	鈴木・*浜田	2		（ドイツ語選択者） ドイツ語ⅠB既習者対象
		122112	PHL213-11j00	ドイツ語ⅡB	3	秋	長町・*加藤	2		（ドイツ語選択者） ドイツ語ⅠB既習者対象

	122500	PHL108-11j00	フランス語ⅠA	2	春	*井上 美徳	1		(フランス語選択者)
	122501	PHL109-11j00	フランス語ⅠB	2	秋	*井上 美徳	1		(フランス語選択者) フランス語ⅠA既習者対象
	122510	PHL214-11j00	フランス語ⅡA	2	春	*柴田・*石田	2		(フランス語選択者) フランス語ⅠB既習者対象
	122511	PHL215-11j00	フランス語ⅡB	2	秋	*柴田・*白川	2		(フランス語選択者) フランス語ⅠB既習者対象
	122208	LAT101-11j00	ラテン語ⅠA	2	春	佐藤 直子	1		(ラテン語選択者)
	122209	LAT102-11j00	ラテン語ⅠB	2	秋	佐藤 直子	1		(ラテン語選択者)
	122206	LAT201-11j00	ラテン語ⅡA	2	春	*堤田・*芝元	2		(ラテン語選択者)
	122207	LAT202-11j00	ラテン語ⅡB	2	秋	*堤田・*芝元	2		(ラテン語選択者)
	122303	PHL106-11j00	英語ⅠA	2	春	寺田 俊郎	1		(英語選択者)
	122304	PHL107-11e00	英語ⅠB	2	秋	寺田 俊郎	1		(英語選択者) 英語ⅠA既習者対象
	122004	PHL210-11j00	文献講読(英語2年用)A	2	春	青田 麻未	2		(英語選択者)
	122005	PHL211-11j00	文献講読(英語2年用)B	2	秋	杉尾 一	2		(英語選択者)

a. 全系列共通選択必修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	121101	PHL102-11j00	哲学演習ⅠA	2	春	杉尾 一	1		
			哲学演習ⅠA	2	春	青田 麻未	1		
			哲学演習ⅠA	2	春	鈴木 伸国	1		
	121103	PHL103-11j00	哲学演習ⅠB	2	秋	川口 茂雄	1		
			哲学演習ⅠB	2	秋	杉尾 一	1		
			哲学演習ⅠB	2	秋	鈴木 伸国	1		
	123106	PHL305-11j00	文献講読ⅠA(ドイツ語)	2	春	長町 裕司	3・4		+
	123107	PHL306-11j00	文献講読ⅠB(ドイツ語)	2	秋	長町 裕司	3・4		+
	123205	PHL307-11j00	文献講読ⅡA(ドイツ語)	2	春	青田 麻未	3・4		+
	123206	PHL308-11j00	文献講読ⅡB(ドイツ語)	2	秋	*瀧 将之	3・4		+
	123311	PHL309-11j00	文献講読ⅢA(仏語)	2	春	*白川 理恵	3・4		+
	123312	PHL310-11j00	文献講読ⅢB(仏語)	2	秋	*佐藤 了	3・4		+
	123313	PHL311-11j00	文献講読ⅤA(仏語)	2	春	川口 茂雄	3・4		+
	123522	PHL312-11j00	文献講読ⅤB(英語)	2	秋	杉尾 一	3・4		+
	123613	PHL313-11j00	文献講読ⅥA(英語)	2	春	鈴木 伸国	3・4		+
	123614	PHL314-11j00	文献講読ⅥB(英語)	2	秋	青田 麻未	3・4		+
	123710	PHL315-11j00	文献講読ⅦA(英語)	2	春	*堀越 羅介	3・4		+
	123711	PHL316-11j00	文献講読ⅦB(英語)	2	休講		3・4		+
	124761	PHL217-11j00	演習文献講読Ⅰ	2	休講		2~4		+
	124762	PHL218-11j00	演習文献講読Ⅱ	2	秋	胡 せい	2~4		+ [30名] 哲学科優先
124763	PHL219-11j00	演習文献講読Ⅲ	2	休講		2~4		+	
123009	HUM322-12j00	日本思想テキスト演習	2					(他) 文学部	

b. 系列別(哲学思想・倫理学・芸術文化)選択必修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	全系列共通	120604	PHL301-11j00	認識論Ⅰ	2	春	川口 茂雄	3・4	3.履修上の注意④-1参照
		120605	PHL302-11j00	認識論Ⅱ	2	秋	川口 茂雄	3・4	3.履修上の注意④-1参照
		126721	PHL323-11j00	人間論Ⅰ	2	秋	鈴木 伸国	3・4	3.履修上の注意④-1参照
		126722	PHL324-11j00	人間論Ⅱ	2	春	HATDAR Juan	3・4	[70名] 哲学科優先 神学部「道徳哲学」と合併 3.履修上の注意④-1参照
		126504	PHL222-11j00	自然神学Ⅰ	2	春	長町 裕司	2~4	3.履修上の注意④-1参照
		126505	PHL223-11j00	自然神学Ⅱ	2	秋	長町 裕司	2~4	3.履修上の注意④-1参照
		128400	PHL339-11j00	現代哲学史	2	春	鈴木 伸国	3・4	

哲学思想系列	128006	PHL337-11j00	現代哲学A	1	1Q	コーディネータ 川口 茂雄	3・4		+ 輪講	
	128007	PHL338-11j00	現代哲学B	1	2Q	コーディネータ 川口 茂雄	3・4		+ 輪講	
	125103	PHL318-11j00	自然哲学	2	秋	杉尾 一	3・4		隔年開講	
	120301	PHL201-11j00	論理学	2	休講		2~4		隔年開講	
	倫理学系列	128702	PHL228-11j00	西洋倫理思想史Ⅰ	2	春	長町 裕司	2~4		+
		128703	PHL229-11j00	西洋倫理思想史Ⅱ	2	秋	コーディネータ 長町 裕司	2~4		+ 輪講
		126741	PHL325-11j00	応用倫理学Ⅰ	2	秋	*山本 剛史	3・4		+ 隔年開講
		126742	PHL326-11j00	応用倫理学Ⅱ	2	休講		3・4		+ 隔年開講
	芸術文化系列	121400	PHL209-11j00	キリスト教思想史	2	休講		2~4		+ 隔年開講
		120902	PHL202-11j00	宗教哲学	2	秋	長町 裕司	2~4		隔年開講
127905		PHL335-11j00	芸術学Ⅰ	2	休講		3・4		[180名] 哲学科優先、隔年開講	
127906		PHL336-11j00	芸術学Ⅱ	2	秋	青田 麻未	3・4		[180名] 哲学科優先、隔年開講	

学科科目（選択科目）・・・32単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科選択科目	129715	PHL230-11j00	ギリシア語Ⅰ	2	春	荻野 弘之	2~4		
		129716	PHL231-11j00	ギリシア語Ⅱ	2	秋	荻野 弘之	2~4		ギリシア語Ⅰ既修者対象
		129717	PHL342-11j00	ギリシア語Ⅲ	2	春	荻野 弘之	3・4		+ギリシア語Ⅱ既修者対象
		129718	PHL343-11j00	ギリシア語Ⅳ	2	秋	荻野 弘之	3・4		+ギリシア語Ⅲ既修者対象
		127515	PHL333-11e00	哲学史研究演習Ⅰ	2	秋	*高橋 雅人	3・4	○	+隔年開講
		127516	PHL334-11j00	哲学史研究演習Ⅱ	2	休講		3・4		+隔年開講
		126402	PHL322-11j00	認識論研究演習	2	春	杉尾 一	3・4		+隔年開講 3.履修上の注意④-1参照
		126301	PHL221-11j00	形而上学研究演習	2	休講		2~4		+隔年開講 3.履修上の注意④-2参照
		124802	PHL317-11j00	現代論理学	2	春	杉尾 一	3・4		隔年開講
		126203	PHL321-11j00	科学基礎論	2	休講		3・4		隔年開講
		127404	PHL331-11j00	社会哲学Ⅰ	2	春	*押村 高	3・4		隔年開講
		127405	PHL332-11j00	社会哲学Ⅱ	2	秋	*押村 高	3・4		隔年開講
		125302	PHL319-11j00	政治哲学Ⅰ	2	休講		3・4		隔年開講
		125303	PHL320-11j00	政治哲学Ⅱ	2	休講		3・4		隔年開講
		126615	PHL224-11e00	倫理学研究演習	2	春	*アビシア・バルタリ	2~4	○	+隔年開講
		127909	PHL225-11j00	芸術学研究演習	2	秋	*桑原 俊介	2~4		+隔年開講
		129001	PHL340-11j00	仏教思想	2	秋	*頼住 光子	3・4		隔年開講
		129011	PHL341-11j00	東洋思想	2	休講		3・4		隔年開講
		外国語科目	選択科目		英語Ⅰ、文献講読（英語2年用）、ラテン語Ⅰ、Ⅱ、フランス語Ⅰ、Ⅱ、ドイツ語Ⅰ、Ⅱ			学科科目（選択必修科目、外国語科目）を参照。		
他学科開講科目	他学科開講科目	953541	THE313-91j00	ヨハネ福音書と初代教会の諸文書	2					(他) 神学部
		953532	THE210-91j00	福音書	2					(他) 神学部
		123004	HUM317-12j00	日中文化交渉史A	2					(他) 文学部
		123005	HUM318-12j00	日中文化交渉史B	2					(他) 文学部
		123008	HUM321-12j00	日本思想	2					(他) 文学部
		186822	CUL101-15e00	日本文化史Ⅰ	2					(他) 国文学科
		186821	CUL102-15e00	日本文化史Ⅱ	2					(他) 国文学科
		140102	EDU201-81j00	教育哲学Ⅰ	2					(他) 教育学科
		140121	EDU202-81j00	教育哲学Ⅱ	2					(他) 教育学科
		154032	PSY226-82j00	認知心理学Ⅰ（知覚・認知心理学）	2					(他) 心理学科
		154022	PSY328-82j00	認知心理学Ⅱ	2					(他) 心理学科
		162605	ART301-14j00	日本美術史	2					(他) 史学科
		165701	ART302-14j00	東洋美術史	2					(他) 史学科
		284012	SOC204-83j00	宗教社会学Ⅰa	1					(他) 社会学科
		284013	SOC205-83j00	宗教社会学Ⅰb	1					(他) 社会学科
		284011	SOC308-83j00	宗教社会学Ⅱ	2					(他) 社会学科

	333000	JUR302-30j00	法哲学	4				(他) 法学部
	854893	ENG126-01e00	CRITICAL ACADEMIC LISTENING AND DISCUSSION	2				(他) 言語教育研究センター
	854894	ENG226-01e00	CRITICAL ACADEMIC LISTENING AND DISCUSSION	2				(他) 言語教育研究センター
	854895	ENG127-01e00	CRITICAL ACADEMIC READING AND DISCUSSION	2				(他) 言語教育研究センター
	854896	ENG227-01e00	CRITICAL ACADEMIC READING AND DISCUSSION	2				(他) 言語教育研究センター
	854897	ENG125-01e00	CRITICAL THINKING AND ACADEMIC WRITING	2				(他) 言語教育研究センター
	854898	ENG225-01e00	CRITICAL THINKING AND ACADEMIC WRITING	2				(他) 言語教育研究センター
	854906	ENG228-01e00	CRITICAL THINKING IN ACADEMIC SPEAKING	2				(他) 言語教育研究センター
その他			文学部横断型人文学プログラム			「文学部横断型人文学プログラム」の項を参照すること		各選択者ともに学科選択科目に算入可。標準配当表を参照のこと。
			他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）			各開講科目担当表を参照		

史学科

史学科

📁 史学科について

📁 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📁 2. 標準配当表

📁 3. 履修上の注意

📁 4. 開講科目担当表

史学科について

〔教育研究上の目的〕

歴史学の理論や方法を学ぶことによって、種々の出来事や社会現象に対する鋭い調査能力や真偽鑑定能力、さらに社会や時代を多面的・総合的に評価できる力を養うこと

〔人材養成の目的〕

過去への探求によって、人間社会の問題点の歴史的起源を理解し、現状改革のために自分の考察結果を広く社会に発信して、未来への指針を示すことのできる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、現代社会を現状固定的にではなく、歴史的に形成されてきたものとして批判的にとらえる能力を身につけ、多文化共生の基盤となる多面的な歴史認識と国際的な視野をもって、社会に貢献できる人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. さまざまな社会現象について広い視野から歴史的な洞察をする能力
2. 既存の研究に即して、自ら問題を発見する能力
3. 各種の史料を正確に解釈し、史実を調査・分析する能力
4. 調査結果から一定の歴史像を構築し、的確に表現・発信する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、「幅広い学習から専門性の高い研究」へといたるよう、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 1年次に、歴史学の初歩的な理論や方法を学び（「研究入門」「入門演習」）、各分野の基礎知識を幅広く獲得させる（各種「概説」）。
2. 2年次に、各自の専攻分野を決定し、それぞれの分野の重要な諸研究や原史料に触れる（「教養演習」、「講読演習」）とともに、最新の研究成果や専門的な知識・技法・考察能力を身につけさせる（各種「特講」）。
3. 3年次に、原語で書かれた専門書や原史料の正確な読解能力を培うとともに、プレゼンテーションや討論を通じて研究能力の育成をはかる（各種「演習」）。
4. 4年次に、これまでの学修の集大成として、自ら問題を発見して追究し、それを論理的・客観的に表現・発信する力を身につけさせる（卒業論文）。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降（合計124単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 8単位 [キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
- ・ 選択必修 6単位 [キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
- ・ 選択 12単位

語学科目 4単位

- ・ 必修 4単位

学科科目 94単位

- ・ 語学科目（選択必修） 8単位
- ・ 学科専門科目（必修 14単位、選択必修 34単位、選択 38単位）

14～21年次生（合計124単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体 2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修 4単位

学科科目 94単位

- ・ 語学科目（選択必修） 8単位
- ・ 学科専門科目（必修 14単位、選択必修 34単位、選択 38単位）

2. 標準配当表

〔史学科〕標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリベラルアーツ	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
課題・視座・立場性を考える	2							
	選択必修 (6単位)			キリスト教人間学	2			
	選択 (12単位)					高学年向け科目		4
		※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される						

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	必修 (14単位)	歴史学研究入門	2	現代歴史学の課題			卒業論文Ⅰ	4
		歴史学入門演習	2				卒業論文Ⅱ	4
	選択必修 (34単位)	アジア・日本史系概説	14	歴史学教養演習 (史料・原書) 講読演習	2	演習		4
		ヨーロッパ・アメリカ史系概説						
		超域史・隣接学概説(注2)						
※各系より最低2科目								
3科目×2単位	6	歴史学特講					12	
2科目×2単位	4							
2科目×2単位	4							
合計	14							
選択 (38単位)	①本学科開講科目(「史学科開講科目担当表」所載科目) ②他学部・他学科開講科目(①の科目および語学科目を除く。実習を除く課程科目および文学部横断型人文学プログラム開講科目を含む) (②で充当できるのは20単位までである) ③語学科目必修・選択必修で履修した以外の指定された語学科目(4単位)(注1)						38	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については「語学科目」のページを参照。

(注2) 2024年次生以降は、超域史・隣接学概説Ⅰ～ⅣのうちⅢのみ、2年次より履修することができるものとする。

[史学科] 標準配当表

17～21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(17年次生のみ) ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注2)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注2)						8
	必修 (14単位)	歴史学研究入門	2				卒業論文Ⅰ	4
		歴史学入門演習					卒業論文Ⅱ	4
				現代歴史学の課題				2
	選択必修 (34単位)	アジア・日本史系概説 ヨーロッパ・アメリカ史系概説 超域史・隣接学概説 ※各系より最低2科目	14	歴史学教養演習 (史料・原書) 講読演習	2 2	演習		4
3科目×2単位 2科目×2単位 2科目×2単位 合計		6 4 4 14		歴史学特講			12	
選択 (38単位)	①本学科開講科目(「史学科開講科目担当表」所載科目) ②他学部・他学科開講科目(①の科目および語学科目を除く。実習を除く課程科目および「プロジェクト・ゼミ」を除く文学部横断型人文プログラム開講科目を含む)(注1) (②で充当できるのは20単位までである) ③語学科目必修・選択必修で履修した以外の指定された語学科目(4単位)(注2)						38	

(注1) プロジェクト・ゼミの取り扱いが年次によって異なるため、詳細は文学部横断型人文プログラムのページを参照すること。

(注2) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については「語学科目」のページを参照。

[史学科] 標準配当表

14~16年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注2)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注2)						8	
	必修 (14単位)	歴史学研究入門	}	2			卒業論文Ⅰ(注1)	4	
		歴史学入門演習		2	歴史学をめぐる諸問題	2	卒業論文Ⅱ(注1)	4	
	選択必修 (34単位)	日本史概説 東洋史概説 西洋史概説 ※概説	}	14	2	2	演習	史学教養演習 (史料・原書) 講読演習	4
		自専攻より						6	特講
他の二専攻より		4							
選択 (38単位)	①本学科開講科目(「史学科開講科目担当表」所載科目) ②他学部・他学科開講科目(①の科目および語学科目を除く。実習を除く課程科目および「プロジェクト・ゼミ」を除く文学部横断型人文学プログラム開講科目を含む) ③語学科目必修・選択必修で履修した以外の指定された語学科目(4単位)(注2)						38		

(注1)「卒業論文」は、2015年度に「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」に分割された。

(注2) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については「語学科目」のページを参照。

3. 履修上の注意

3. 履修上の注意 ▶

📄 3-1. 履修上の注意【共通】

📄 3-2. 履修上の注意【17年次生以降】

📄 3-3. 履修上の注意【14-16年次生】

3-1. 履修上の注意【共通】

① カリキュラムの改変について

史学科では2017年度にカリキュラムの改変を実施し、日本史・東洋史・西洋史のコース制が廃止され、それに伴い、概説をはじめとする多くの科目の内容・名称が変更になっている。しかし、現在の開講科目は、ほぼ2016年度以前の開講科目と対応しているので、16年次生以前もこれを履修することで、従来どおり卒業単位を満たすことができる。16年次生以前の学生は、「新旧開講科目対照表」をよく読み、現在開講されている科目が2016年度以前のどの科目に当たるかを確認し、間違いのないよう履修すること（なお、以下の説明のうち、「〈旧〉」は2016年度以前の旧カリキュラムを、「〈新〉」は2017年度以降の新規カリキュラムを指し、これを科目名に冠するものは、それぞれ新旧の開講科目名を意味する）

【新旧開講科目対照表 学科科目（必修科目・選択必修科目・選択科目）】

2016年度以前<旧>	2017年度以降<新>	2016年度以前<旧>	2017年度以降<新>
歴史学研究入門	同	西洋史演習(古代史) I	ヨーロッパ・アメリカ史系演習A I
歴史学入門演習	同	西洋史演習(古代史) II	ヨーロッパ・アメリカ史系演習A II
卒業論文 I	同	西洋史演習(中世史) I	ヨーロッパ・アメリカ史系演習B I
卒業論文 II	同	西洋史演習(中世史) II	ヨーロッパ・アメリカ史系演習B II
歴史学をめぐる諸問題	現代歴史学の課題	西洋史演習(近世史) I	ヨーロッパ・アメリカ史系演習C I
日本史概説 I	アジア・日本史系概説 I (日本史)	西洋史演習(近世史) II	ヨーロッパ・アメリカ史系演習C II
日本史概説 II	アジア・日本史系概説 II (日本史)	西洋史演習(近現代史) I	ヨーロッパ・アメリカ史系演習D I
日本史概説 III	超域史・隣接学概説 I	西洋史演習(近現代史) II	ヨーロッパ・アメリカ史系演習D II
日本史概説 IV	超域史・隣接学概説 II	古文書学概論	同
東洋史概説 I	アジア・日本史系概説 III (東洋史)	古文書学特論	同
東洋史概説 II	アジア・日本史系概説 IV (東洋史)	日本美術史	同
東洋史概説 III	アジア・日本史系概説 V (東洋史)	日本史特講(古代史)	歴史学特講(日本古代史)
西洋史概説 I	ヨーロッパ・アメリカ史系概説 I	日本史特講(中世史)	歴史学特講(日本中世史)
西洋史概説 II	ヨーロッパ・アメリカ史系概説 II	日本史特講(近世史)	歴史学特講(日本中世政治史)*1
西洋史概説 III	ヨーロッパ・アメリカ史系概説 III	日本史特講(日本仏教史)	歴史学特講(日本仏教史)
西洋史概説 IV	ヨーロッパ・アメリカ史系概説 IV	日本史特講(日欧交渉史)	歴史学特講(日欧交渉史)
	超域史・隣接学概説 III	日本史特講(近代史)	歴史学特講(超域史)
	超域史・隣接学概説 IV	日本史特講(近代史)	歴史学特講(日本近代史)
史学教養演習(日本史、北條)	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	日本史特講(東アジア国際関係史)	歴史学特講(国際関係史)
史学教養演習(日本史、中澤)	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	東洋史特講(東洋考古学) I	歴史学特講(東洋考古学 I)*2
史学教養演習(日本史、川村)	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	東洋史特講(東洋考古学) II	歴史学特講(東洋考古学 II)*3
史学教養演習(日本史、長田)	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	東洋史特講(朝鮮伝統社会と儒教倫理)	歴史学特講(朝鮮伝統社会と儒教倫理)
史学教養演習(東洋史、大澤)	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	東洋史特講(中国近現代社会政治史)	歴史学特講(中国近現代社会政治史)
史学教養演習(東洋史、山内)	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	東洋史特講(中国古代中世史)	同
史学教養演習(東洋史、笹川)	歴史学教養演習(アジア・日本史系)	東洋美術史	同
史学教養演習(西洋史、豊田)	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	西洋史特講(古代史)	歴史学特講(西洋古代史)
史学教養演習(西洋史、児嶋)	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	西洋史特講(中世・ルネサンスの歴史と美術)	歴史学特講(西洋中世史)
史学教養演習(西洋史、坂野)	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	西洋史特講(フランス史の諸問題)	歴史学特講(フランス史の諸問題)
史学教養演習(西洋史、井上)	歴史学教養演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	西洋史特講(近世史)	歴史学特講(西洋近世史)*4
史料講読演習(日本史、北條)	史料講読演習(アジア・日本史系)	西洋史特講(近現代政治社会史)	歴史学特講(西洋近現代政治社会史)
史料講読演習(日本史、中澤)	史料講読演習(アジア・日本史系)	西洋美術史	同
史料講読演習(日本史、川村)	史料講読演習(アジア・日本史系)	日本通史	同
史料講読演習(日本史、長田)	史料講読演習(アジア・日本史系)	キリスト教史概説	同
史料講読演習(東洋史、大澤)	史料講読演習(アジア・日本史系)	外国史	同
史料講読演習(東洋史、山内)	史料講読演習(アジア・日本史系)	国際関係論	同
史料講読演習(東洋史、笹川)	史料講読演習(アジア・日本史系)	政治学	同
原書講読演習(西洋史、豊田)	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	経済学	同
原書講読演習(西洋史、児嶋)	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	社会学	同
原書講読演習(西洋史、坂野)	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	地理学 I	同
原書講読演習(西洋史、井上)	原書講読演習(ヨーロッパ・アメリカ史系)	地理学 II	同
日本史演習(古代史) I	アジア・日本史系演習A I	地誌学	同
日本史演習(古代史) II	アジア・日本史系演習A II		歴史学特講(事例研究) I a
日本史演習(中世史) I	アジア・日本史系演習B I		歴史学特講(事例研究) I b
日本史演習(中世史) II	アジア・日本史系演習B II		歴史学特講(事例研究) II a
日本史演習(近世史) I	アジア・日本史系演習C I		歴史学特講(事例研究) II b
日本史演習(近世史) II	アジア・日本史系演習C II		
日本史演習(近代史) I	アジア・日本史系演習D I		
日本史演習(近代史) II	アジア・日本史系演習D II		
東洋史演習(中国古代中世史) I	アジア・日本史系演習E I		
東洋史演習(朝鮮史) I			
東洋史演習(中国古代中世史) II	アジア・日本史系演習E II		
東洋史演習(朝鮮史) II			
東洋史演習(中国近現代史) I	アジア・日本史系演習F I		
東洋史演習(中国近現代史) II	アジア・日本史系演習F II		

*1 2016年度以前対応科目は史学科選択必修科目の日本史特講。

*2 2020年度から「歴史学特講(東洋考古学)」に名称変更。

*3 2020年度から「歴史学特講(中国古代・中世史)」に名称変更。

*4 2020年度から「歴史学特講(西洋文化史)」に名称変更。

② 文学部横断型人文学プログラムについて

文学部は、2015年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラムについて」のページを参照すること。

③ 卒業論文について

1. 卒業論文を作成・提出するにあたって、第3年次の学年末(通常1月)に学科で卒業論文の予備登録を行い、指導教員の論文指導の許可を得なければならない。所定届け出用紙は、史学科事務室で配付する(あるいは、オンラインで専用のフォ

ームに入力するものとする)。

2. 2015年度より、「卒業論文」は通年科目から Semester 制に変更した。原則として第4年次春学期に「卒業論文Ⅰ」、秋学期に「卒業論文Ⅱ」の履修登録を Loyola で行い、教員の指導を受けること。留学・休学等やむを得ない事情がある場合は、履修登録期間前に必ず学科長へ相談すること。
3. 「卒業論文Ⅰ」の評価には、P (合格)、X (不合格) を使用する。
4. 卒業論文の提出要領 (提出期間、提出先、提出方法等) については、秋学期開始頃に My Sophia に掲示するので、よく注意しておくこと。
提出期間：2025年12月8日 (月) ~ 12日 (金)
5. その他装丁などの詳細については、各自指導教員の指示にしたがうこと。
6. 「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」は各4単位の必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止 (W) を認める。

④ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	-
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧 [ガイド・資料編] を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
ART	ART HISTORY / VISUAL CULTURE	美術史
GEO	GEOGRAPHY	地理
GRP	GRADUATION PROJECT	卒業論文
HST	HISTORY	歴史
POL	POLITICAL SCIENCE	政治学
SOC	SOCIOLOGY	社会学

⑥ 大学院入学前科目履修について

4年次生は、授業担当教員および専攻主任の許可を得て、大学院文学研究科史学専攻の授業科目を履修することができる。履修した授業科目は、大学院進学後、定められた単位数の範囲内で、入学前既修得単位として認定される。

ただし、学部卒業に必要な単位としては認められないので注意すること。

3-2. 履修上の注意【17年次生以降】

① 語学科目について

英語については、学科専門科目を履修するうえでも非常に重要である。そのため、1年次必修科目「ACADEMIC COMMUNICATION1・2」に加えて英語の科目を履修し、英語力を高めることが望ましい。科目および履修方法等については要覧「語学科目」のページを参照。

② 学科科目について

- 必修科目については、第1年次に「歴史学研究入門」と「歴史学入門演習」、第2年次に「現代歴史学の課題」、第4年次に「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」を履修すること。
- 史学科開講の「概説」については、アジア・日本史系、ヨーロッパ・アメリカ史系、超域史・隣接学の各概説から、各系より最低2科目（4単位）、合計7科目（14単位）を履修すること。なお、2024年次生からは、超域史・隣接学概説Ⅲのみ、第2年次より履修可能とする。
- 第2年次に、「歴史学教養演習」と「(史料・原書)講読演習」が選択必修となる。なお、第2年次の当該2科目の単位修得が、第3年次の「演習」履修の条件となる。当該2科目の決定は、第1年次の学年末（通常1月）の学科による振り分けにより、それを第2年次の履修登録で入力すること（Loyolaで登録）。学科による振り分けの前に、希望調査アンケート（通常7月と11月）、プレゼミ・ガイダンス（通常12月）、教員との面談と最終希望書提出（1月）を行うので、My Sophiaの学科・専攻掲示板に注意すること。
- 史学科開講の「歴史学特講」（「古文書学概論」・「古文書学特論」・各「美術史」・「グローバル・ヒストリー」を含む）は12単位以上を履修すること。なおこの科目は、第2年次より履修することができる。
- 第3年次より、第2年次履修「歴史学教養演習」、「(史料・原書)講読演習」と同一の教員による「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」（各2単位以上）を履修すること。登録については、第2年次生の学年末（通常1月）の学科での予備登録と、第3年次の履修登録（Loyolaで登録）を必要とする。その際、登録の条件などについては、担当教員の指導を受けること。なお、この「演習」の単位修得が、卒業論文の登録条件ともなる。また、第2年次「歴史学教養演習」・「(史料・原書)講読演習」と同一の教員の「演習」に登録、もしくは単位修得を済ませている場合、それ以外の教員の「演習」を履修することができる（但しその場合には、受入側の教員の許可が必要である）。
- 重複履修の可否について
「歴史学研究入門」、「歴史学入門演習」、「卒業論文」、アジア・日本史系／ヨーロッパ・アメリカ史系／超域史・隣接学の各「概説」、同一教員担当の「歴史学教養演習」・「史料講読演習」・「原書講読演習」、「古文書学概論」、「グローバル・ヒストリー」および選択科目は、重複履修することができない。しかし、「現代歴史学の課題」、各「歴史学特講」、各「演習」、各「美術史」、「古文書学特論」は、重複履修が可能である。なお、2020年次生からは、「古文書学特論」を重複履修することはできない。
- 必修科目のうち重複履修可能な「現代歴史学の課題」、および選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目の単位数に算入される。
- 他学部・他学科開講科目を履修した場合の単位について
史学科開講科目（「史学科開講科目担当表」所載の科目）以外の他学部・他学科の開講科目を履修した場合は、20単位まで選択科目の単位数に算入される。なお、他学部・他学科の開講科目には、教職課程・学芸員課程科目が含まれる。但し、教育実習および博物館実習は除外する。
- 国際教養学部の科目を履修する場合は、登録方法が異なるので、履修要覧【ガイド・資料編】5-1（3）「国際教養学部開講科目の履修について」をよく読むこと。


③ 語学科目（学科科目）について

1. 【語学科目選択必修について】

語学科目の選択必修として、英語以外の同一言語を8単位修得しなければならない。アジア・日本史系の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を履修した者は、その8単位のうち4単位までを「古文書学概論」（2単位）、「古文書学特論」（2単位）によって代替することができる（2019年次生までは、「古文書学特論」の重複履修は可能であるが、語学科目の選択必修として充当できるのは2単位までとする）。なお、手続きは演習担当教員が学生の申請に基づいて行う。

2. 【学科選択科目に算入できる語学科目について】

語学科目必修・選択必修で履修した以外の同一言語を4単位以上修得した場合、1言語に限り4単位を選択科目として卒業に必要な単位に充当することができる。

 (1)、(2)ともに指定の言語および履修方法については要覧「語学科目」のページを参照。

3-3. 履修上の注意【14-16年次生】

① 語学科目について

英語については、学科専門科目を履修するうえでも非常に重要である。そのため、1年次必修科目「ACADEMIC COMMUNICATION1・2」に加えて英語の科目を履修し、英語力を高めることが望ましい。科目および履修方法等については要覧「語学科目」のページを参照。

② 学科科目について

- 必修科目については、第1年次に「歴史学研究入門」と「歴史学入門演習」、第2年次に〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」(〈新〉「現代歴史学の課題」)、第4年次に「卒業論文I」、「卒業論文II」を履修すること。
- 史学科開講の「概説」については、〈旧〉日本史・東洋史・西洋史の各「概説」を、各自の専攻より3科目(6単位)、他の2専攻より各2科目(4単位)、合計7科目(14単位)履修すること(なお〈新〉では、「日本史概説」は「アジア・日本史系概説」「超域史・隣接学概説」に、「東洋史概説」は「アジア・日本史系概説」に、「西洋史概説」は「ヨーロッパ・アメリカ史系概説」に、それぞれ名称変更されている)。
- 第2年次に、〈旧〉「史学教養演習」(〈新〉「歴史学教養演習」)と「(史料・原書)講読演習」(〈新・旧〉同じ)が選択必修となる。なお、第2年次の当該2科目の単位修得が、第3年次の「演習」履修の条件となる。当該2科目の決定は、第1年次の学年末(通常1月)の学科による振り分けにより、それを第2年次の履修登録で入力すること(Loyolaで登録)。学科による振り分けの前に、希望調査アンケート(通常7月と11月)、プレゼミ・ガイダンス(通常12月)、教員との面談と最終希望書提出(1月)を行うので、My Sophiaの学科・専攻掲示板に注意すること。
- 史学科開講の「〈旧〉「特講」」(〈新〉「歴史学特講」。「古文書学概論」・「古文書学特論」・各「美術史」・「グローバル・ヒストリー」を含む)は、12単位以上を履修すること。なおこの科目は、第2年次より履修することができる。
- 第3年次より、各自専攻の同一の教員による「演習I」・「演習II」(各2単位以上)を履修すること。登録については、第2年次生の学年末(通常1月)の学科での予備登録と、第3年次の履修登録(Loyolaで登録)を必要とする。その際、登録の条件などについては、担当教員の指導を受けること。また、この「演習」の単位修得が、卒業論文の登録条件ともなる(なお〈新〉では、「日本史演習」「東洋史演習」は「アジア・日本史系演習」に、「西洋史演習」は「ヨーロッパ・アメリカ系演習」に、それぞれ名称変更されている)。
- 重複履修の可否について
「歴史学研究入門」、「歴史学入門演習」、「卒業論文」、〈旧〉日本史・東洋史・西洋史の各「概説」(〈新〉アジア・日本史系／ヨーロッパ・アメリカ系／超域史・隣接学系の各「概説」)、同一教員担当の〈旧〉「史学教養演習」(〈新〉「歴史学教養演習」)・「史料講読演習」・「原書講読演習」、「古文書学概論」、「グローバル・ヒストリー」および選択科目は、重複履修することができない。しかし、〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」(〈新〉「現代歴史学の課題」)、各〈旧〉「特講」(〈新〉「歴史学特講」)、各「演習」、各「美術史」、「古文書学特論」は、重複履修が可能である。
- 必修科目のうち重複履修可能な〈旧〉「歴史学をめぐる諸問題」(〈新〉「現代歴史学の課題」)、および選択必修科目を最低基準以上履修した場合、その超過分は選択科目の単位数に算入される。
- 他学部・他学科開講科目を履修した場合の単位について 史学科開講科目(「史学科開講科目担当表」所載の科目)以外の他学部・他学科の開講科目を履修した場合は、20単位まで選択科目の単位数に算入される。但し、教育実習および博物館実習は除外する。
- 国際教養学部の科目を履修する場合は、登録方法が異なるので、履修要覧[ガイド・資料編]5-1(3)「国際教養学部開講科目の履修について」をよく読むこと。


③ 語学科目(学科科目)について

1. 【語学科目選択必修について】

語学科目選択必修として英語以外の同一言語を8単位修得しなければならない。日本史専攻者は、その8単位のうち4単位までを「古文書学概論」(2単位)、「古文書学特論」(2単位)によって代替することができる(「古文書学特論」は重複履修が可能な科目であるが、語学科目の選択必修として充当できるのは2単位までとする)。なお、手続きは演習担当教員が学生の申請に基づいて行う。

2. 【学科選択科目に算入できる語学科目について】

語学科目必修・選択必修で履修した以外の同一言語を4単位以上修得した場合、1言語に限り4単位を選択科目として卒業に必要な単位に充当することができる。

 (1)、(2)ともに指定の言語および履修方法については要覧「語学科目」のページを参照。

4. 開講科目担当表

開講科目担当表〔史学科〕

学科科目（必修科目）・・・14単位

17年次生以降

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	160408	HST101-14j00	歴史学研究入門	2	春	坂野 正則	1		
	160500	HST102-14j00	歴史学入門演習	2	秋	コーディネータ 中村 江里 川村 信三 坂野 正則 大川 裕子	1		4クラス制
	160720	HST301-14j00	現代歴史学の課題	2	春	コーディネータ 山本 成生	2		輪講
	160601	GRP401-14j00	卒業論文Ⅰ	4	春	史学科教員	4		
	160602	GRP402-14j00	卒業論文Ⅱ	4	秋	史学科教員	4		

14～16年次生

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	160408	HST101-14j00	歴史学研究入門	2	春	坂野 正則	1		
	160500	HST102-14j00	歴史学入門演習	2	秋	コーディネータ 中村 江里 川村 信三 坂野 正則 大川 裕子	1		4クラス制
	160720	HST301-14j00	現代歴史学の課題	2	春	コーディネータ 山本 成生	2		輪講
	160601	GRP401-14j00	卒業論文Ⅰ	4	春	史学科教員	4		旧「卒業論文」
	160602	GRP402-14j00	卒業論文Ⅱ	4	秋	史学科教員	4		

語学科目選択必修・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
択語必修科目選			語学科目としての外国語 (英語以外の同一言語)	8			1～4		語学科目選択必修として英語以外の指定された同一言語を履修すること。 履修上の注意については「語学科目」の項を参照すること。

学科科目（選択必修科目）・・・34単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目	161600	HST205-14j00	アジア・日本史系概説Ⅰ（日本史）	2	春	北條 勝貴	1			
	161610	HST206-14j00	アジア・日本史系概説Ⅱ（日本史）	2	秋	中澤 克昭	1			
	161620	HST207-14j00	アジア・日本史系概説Ⅲ（東洋史）	2	春	笹川 裕史	1			
	161630	HST208-14j00	アジア・日本史系概説Ⅳ（東洋史）	2	休講		1			
	161640	HST209-14j00	アジア・日本史系概説Ⅴ（東洋史）	2	秋	大川 裕子	1			
	161700	HST210-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅰ	2	秋	中川 亜希	1			
	161710	HST211-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅱ	2	春	山本 成生	1			
	161720	HST212-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅲ	2	秋	坂野 正則	1			
	161730	HST213-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系概説Ⅳ	2	休講		1			
	161800	HST214-14j00	超域史・隣接学概説Ⅰ	2	春	川村 信三	1			
	161810	HST215-14j00	超域史・隣接学概説Ⅱ	2	秋	中村 江里	1			
	161820	HST216-14j00	超域史・隣接学概説Ⅲ	2	春	森田 直子	1			
	161830	HST217-14j00	超域史・隣接学概説Ⅳ	2	春	加賀谷 真梨	1			
	教養演習	160570	HST201-14j00	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	2	春	北條 勝貴	2		
		160570	HST201-14j00	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	2	春	中澤 克昭	2		
		160570	HST201-14j00	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	2	春	川村 信三	2		
		160570	HST201-14j00	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	2	春	中村 江里	2		
160570		HST201-14j00	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	2	春	大川 裕子	2			
160570	HST201-14j00	歴史学教養演習（アジア・日本史系）	2	春	笹川 裕史	2				

	160580	HST202-14j00	歴史学教養演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	春	中川 亜希	2	
	160580	HST202-14j00	歴史学教養演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	春	山本 成生	2	
	160580	HST202-14j00	歴史学教養演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	春	坂野 正則	2	
	160580	HST202-14j00	歴史学教養演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	春	森田 直子	2	
講読演習	160950	HST203-14j00	史料講読演習 (アジア・日本史系)	2	秋	北條 勝貴	2	
	160950	HST203-14j00	史料講読演習 (アジア・日本史系)	2	秋	中澤 克昭	2	
	160950	HST203-14j00	史料講読演習 (アジア・日本史系)	2	秋	川村 信三	2	
	160950	HST203-14j00	史料講読演習 (アジア・日本史系)	2	秋	中村 江里	2	
	160950	HST203-14j00	史料講読演習 (アジア・日本史系)	2	秋	大川 裕子	2	
	160950	HST203-14j00	史料講読演習 (アジア・日本史系)	2	秋	笹川 裕史	2	
	160960	HST204-14j00	原書講読演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	秋	中川 亜希	2	
	160960	HST204-14j00	原書講読演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	秋	山本 成生	2	
	160960	HST204-14j00	原書講読演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	秋	坂野 正則	2	
	160960	HST204-14j00	原書講読演習 (ヨーロッパ・アメリカ史系)	2	秋	森田 直子	2	
演習	170000	HST401-14j00	アジア・日本史系演習A I	2	春	北條 勝貴	3・4	
	170001	HST402-14j00	アジア・日本史系演習A II	2	秋	北條 勝貴	3・4	
	170010	HST403-14j00	アジア・日本史系演習B I	2	春	中澤 克昭	3・4	
	170011	HST404-14j00	アジア・日本史系演習B II	2	秋	中澤 克昭	3・4	
	170020	HST405-14j00	アジア・日本史系演習C I	2	春	川村 信三	3・4	
	170021	HST406-14j00	アジア・日本史系演習C II	2	秋	川村 信三	3・4	
	170030	HST407-14j00	アジア・日本史系演習D I	2	春	中村 江里	3・4	
	170031	HST408-14j00	アジア・日本史系演習D II	2	秋	中村 江里	3・4	
	170040	HST409-14j00	アジア・日本史系演習E I	2	春	大川 裕子	3・4	
	170041	HST410-14j00	アジア・日本史系演習E II	2	秋	大川 裕子	3・4	
	170050	HST411-14j00	アジア・日本史系演習F I	2	春	笹川 裕史	3・4	
	170051	HST412-14j00	アジア・日本史系演習F II	2	秋	笹川 裕史	3・4	
	170100	HST413-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習A I	2	春	中川 亜希	3・4	
	170101	HST414-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習A II	2	秋	中川 亜希	3・4	
	170110	HST415-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習B I	2	春	山本 成生	3・4	
	170111	HST416-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習B II	2	秋	山本 成生	3・4	
	170120	HST417-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習C I	2	春	坂野 正則	3・4	
170121	HST418-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習C II	2	秋	坂野 正則	3・4		
170130	HST419-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習D I	2	春	森田 直子	3・4		
170131	HST420-14j00	ヨーロッパ・アメリカ史系演習D II	2	秋	森田 直子	3・4		
特講	172206	HST323-14j00	古文書学概論	2	休講		2	隔年開講
	172207	HST324-14j00	古文書学特論	2	春	中澤 克昭	2	隔年開講
	162605	ART301-14j00	日本美術史	2	秋	中村 江里、北條 勝貴、中澤 克昭、川村 信三	2~4	輪講科目
	170400	HST302-14j00	歴史学特講 (日本古代史)	2	休講		2~4	隔年開講
	170410	HST303-14j00	歴史学特講 (日本中世史)	2	春	中澤 克昭	2~4	隔年開講
	170420	HST304-14j00	歴史学特講 (日本中世政治史)	2	休講		2~4	隔年開講
	170430	HST305-14j00	歴史学特講 (日本仏教史)	2	秋	北條 勝貴	2~4	隔年開講
	170440	HST306-14j00	歴史学特講 (日欧交渉史)	2	秋	川村 信三	2~4	
	170460	HST307-14j00	歴史学特講 (超域史)	2	春	*牧野 元紀	2~4	
	170470	HST308-14m00	歴史学特講 (日本近代史)	2	春	*岡田 泰平	2~4	○
	170481	HST328-14j00	歴史学特講 (国際関係史) A	2	春	中村 江里	2~4	
	170482	HST329-14j00	歴史学特講 (国際関係史) B	2	秋	中村 江里	2~4	
	170620	HST326-14j00	歴史学特講 (東洋考古学)	2	春	*上野 祥史	2~4	
	170610	HST325-14j00	歴史学特講 (中国古代・中世史)	2	休講		2~4	
	170500	HST312-14j00	歴史学特講 (朝鮮伝統社会と儒教倫理)	2	秋	*金 光来	2~4	
	170510	HST313-14j00	歴史学特講 (中国近現代社会政治史)	2	秋	笹川 裕史	2~4	
	165701	ART302-14j00	東洋美術史	2	秋	*津村 真輝子	2~4	隔年開講
	170520	HST314-14m00	歴史学特講 (西洋古代史)	2	春	中川 亜希	2~4	○
	170530	HST315-14m00	歴史学特講 (西洋中世史)	2	秋	*三浦 麻美	2~4	
	170540	HST316-14m00	歴史学特講 (フランス史の諸問題)	2	休講		2~4	○ 授業は全てフランス語で行う
	170630	HST327-14j00	歴史学特講 (西洋文化史)	2	春	*牧田 義也	2~4	○
	170560	HST318-14m00	歴史学特講 (西洋近現代政治社会史)	2	秋	森田 直子	2~4	○ 授業は全てドイツ語または英語で行う
	174004	ART303-14j00	西洋美術史	2	休講		2~4	隔年開講、[150名]
	170571	HST319-14j00	歴史学特講 (事例研究) I	2	秋	坂野 正則	2~4	
	170591	HST321-14j00	歴史学特講 (事例研究) II	2	春	大川 裕子	2~4	
	BGS50500	GST205-21j00	グローバル・ヒストリー	2				(他) 総合グローバル学科

学科科目（選択科目）・・・38単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	174006	HST103-14j00	日本通史	2	春	*皆川 雅樹	1～4		
	174007	HST104-14j00	外国史	2	秋	コーディネータ 森田 直子	1～4		輪講、[200名]
	174009	POL101-14j00	政治学	2	春	*清水 謙	1～4		[200名]
	174011	SOC201-14j00	社会学	2	春	*小杉 亮子	1～4		
	172001	GEO201-14j00	地理学Ⅰ	2	春	*山本 充	1～4		
	172002	GEO202-14j00	地理学Ⅱ	2	秋	*山本 充	1～4		
	174005	GEO101-14j00	地誌学	2	秋	*松宮 邑子	1～4		
	123004	HUM317-12j00	日中文化交渉史A	2					文学部横断型人文学プログラ ジャパノロジーコース
	123005	HUM318-12j00	日中文化交渉史B	2					文学部横断型人文学プログラ ジャパノロジーコース
	123006	HUM319-12j00	キリシタン文化史A	2					文学部横断型人文学プログラ ジャパノロジーコース
	624530	CCP102-03j00	博物館学概論	2					(他) 学芸員課程
	624550	CCP103-03j00	博物館資料論	2					(他) 学芸員課程
	624580	CCP104-03j00	博物館経営論	2					(他) 学芸員課程
	970590	THE222-91j00	キリスト教の成立とその時代	2					(他) 神学部
	950930	THE207-91j00	キリスト教の歴史Ⅰ	2					(他) 神学部
	950931	THE208-91j00	キリスト教の歴史Ⅱ	2					(他) 神学部
	957606	THE319-91j00	聖書考古学	2					(他) 神学部
	121400	PHL209-11j00	キリスト教思想史	2					(他) 哲学科
	125701	PHL220-11j00	古代哲学史	4					(他) 哲学科
	128301	PHL227-11j00	中世哲学史	4					(他) 哲学科
	128110	PHL226-11j00	近世哲学史	4					(他) 哲学科
	128006	PHL337-11j00	現代哲学A	1					(他) 哲学科
	128007	PHL338-11j00	現代哲学B	1					(他) 哲学科
	126721	PHL323-11j00	人間論Ⅰ	2					(他) 哲学科
	126722	PHL324-11j00	人間論Ⅱ	2					(他) 哲学科
	127206	PHL329-11j00	美学Ⅰ	2					(他) 哲学科
	127207	PHL330-11j00	美学Ⅱ	2					(他) 哲学科
	127905	PHL335-11j00	芸術学Ⅰ	2					(他) 哲学科
	127906	PHL336-11j00	芸術学Ⅱ	2					(他) 哲学科
	186822	CUL101-15e00	日本文化史Ⅰ	2					(他) 国文学科
	186821	CUL102-15e00	日本文化史Ⅱ	2					(他) 国文学科
	220408	HST401-17g00	ドイツ文化・思想史1	2					(他) ドイツ文学科
	220409	HST402-17g00	ドイツ文化・思想史2	2					(他) ドイツ文学科
	240142	CUL202-18f00	現代のフランス	2					(他) フランス文学科
	140413	EDU245-81j00	教育史Ⅰ	2					(他) 教育学科
	140414	EDU246-81j00	教育史Ⅱ	2					(他) 教育学科
	337011	JUR303-30j00	西洋法制史	2					(他) 法学部
	501367	ANA311-50e00	TOPICS IN AMERICAN HISTORY	2					(他) 外国語学部、旧「米国 特講Ⅰ、Ⅱ」、[Topics in American History 1、2]
539305	AEU321-50j00	オーストリア文化史	2					(他) 外国語学部、旧「オー ストリア文化史Ⅰ」、[同2]	
690123	AEU349-50j00	西概史	2					(他) 外国語学部	
690124	ALA203-50j00	西米概史	2					(他) 外国語学部	
557027	AEU339-50j00	西史特講A	2					(他) 外国語学部	
557028	AEU340-50j00	西史特講B	2					(他) 外国語学部	
558880	AEU342-50j00	西美術史概論	2					(他) 外国語学部 旧「西・西米美術史A-1」 「西・西米美術史A-2」 「西・西米美術史B-1」 「西・西米美術史B-2」 「西美術史A-1」 「西美術史A-2」 「西美術史B-1」 「西美術史B-2」	
558890	AEU343-50j00	西美術史特論	2					(他) 外国語学部	
690144	ALA204-50j00	ブラジル史	2					(他) 外国語学部、旧「ボル トガル語圏の歴史C」	
690369	AEU366-50j00	フランス革命史研究	2					(他) 外国語学部	
690370	AEU367-50j00	フランス語圏の歴史研究	2					(他) 外国語学部	
BGS52500	IRS306-21j00	国際政治史1	2					(他) 総合グローバル学科	
BGS52501	IRS307-21j00	国際政治史2	2					(他) 総合グローバル学科	
BGS54500	ASA300-21j00	東南アジア考古学	2					(他) 総合グローバル学科	
BGS54600	ASA301-21e00	PREMODERN HISTORY OF SOUTH EAST ASIA	2					(他) 総合グローバル学科	

BGS61500	ASA326-21j00	東南アジア現代政治史	2			(他) 総合グローバル学科、旧「東南アジア史(近現代)
BGS61600	ASA327-21j00	東南アジア史(近現代)	2			(他) 総合グローバル学科、旧「東南アジア史(近現代)
BGS56000	AME300-21j00	中東イスラーム史(前近代)	2			(他) 総合グローバル学科
BGS61200	AME322-21j00	中東近代史A	2			(他) 総合グローバル学科
BGS58300	AME318-21e00	CONTEMPORARY SOCIETIES OF THE MIDDLE EAST	2			(他) 総合グローバル学科
BGS55600	ASA314-21j00	アジア文化遺産研究	2			(他) 総合グローバル学科
BGS56700	AME307-21j00	イスラームとジェンダー	2			(他) 総合グローバル学科
BGS55400	ASA312-21j00	南アジア史	2			(他) 総合グローバル学科
BGS57100	AAF311-21j00	アフリカ史	2			(他) 総合グローバル学科
HST302	HST302-65e00	TOPICS IN HISTORY1	4			(他) 国際教養学部
HST303	HST303-65e00	TOPICS IN HISTORY2	4			(他) 国際教養学部
HST463	HST463-65e00	ISSUES IN CHINESE HISTORY	4			(他) 国際教養学部
HST471	HST471-65e00	THE EURO-ASIAN ENCOUNTER	4			(他) 国際教養学部
RPH303	RPH303-65e00	THE ENCOUNTER OF RELIGIONS IN THE MODERN WORLD	4			(他) 国際教養学部
HST251	HST251-65e00	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION1	4			(他) 国際教養学部
HST252	HST252-65e00	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION2	4			(他) 国際教養学部
HST261	HST261-65e00	HISTORY OF CHINESE CIVILIZATION	4			(他) 国際教養学部
GSP21040	ENG205-02e00	HISTORY IN ENGLISH A1	2			(他) 全学共通科目
GSP21050	ENG206-02e00	HISTORY IN ENGLISH B1	2			(他) 全学共通科目
GSP21070	ENG208-02e00	HISTORY IN ENGLISH B2	2			(他) 全学共通科目
GSP21220	ENG223-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A1	2			(他) 全学共通科目
GSP21230	ENG224-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B1	2			(他) 全学共通科目
GSP21240	ENG225-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A2	2			(他) 全学共通科目
GSP21250	ENG226-02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B2	2			(他) 全学共通科目
GSP21260	ENG227-02e00	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A1	2			(他) 全学共通科目
GSP21270	ENG228-02e00	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B1	2			(他) 全学共通科目
GSP21280	ENG229-02e00	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH A2	2			(他) 全学共通科目
GSP21290	ENG230-02e00	CULTURAL STUDIES IN ENGLISH B2	2			(他) 全学共通科目
GSP21300	ENG231-02e00	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A1	2			(他) 全学共通科目
GSP21310	ENG232-02e00	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B1	2			(他) 全学共通科目
GSP21320	ENG233-02e00	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH A2	2			(他) 全学共通科目
GSP21330	ENG234-02e00	CROSS-CULTURAL COMMUNICATION IN ENGLISH B2	2			(他) 全学共通科目
GSP21400	ENG241-02e00	JAPANOLGY (HISTORY) A1	2			(他) 全学共通科目
854818	ENG241-01e00	ENGLISH FOR TRANSLATORS	2			(他) 言語教育研究センター
854901	ENG121-01e00	CRITICAL THINKING AND	2			(他) 言語教育研究センター
854902	ENG221-01e00	CRITICAL THINKING AND	2			(他) 言語教育研究センター
854897	ENG125-01e00	CRITICAL THINKING AND ACADEMIC WRITING	2			(他) 言語教育研究センター
854898	ENG225-01e00	CRITICAL THINKING AND ACADEMIC WRITING	2			(他) 言語教育研究センター
854893	ENG126-01e00	CRITICAL ACADEMIC LISTENING AND DISCUSSION	2			(他) 言語教育研究センター
854894	ENG226-01e00	CRITICAL ACADEMIC LISTENING AND DISCUSSION	2			(他) 言語教育研究センター
854895	ENG127-01e00	CRITICAL ACADEMIC READING AND DISCUSSION	2			(他) 言語教育研究センター
854896	ENG227-01e00	CRITICAL ACADEMIC READING AND DISCUSSION	2			(他) 言語教育研究センター

選択科目については、備考欄にある各科目の開講学科記載の「履修上の注意」をよく読むこと。

その他

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考
選 択 科 目			他学部他学科開講科目（語学科目を除く） ・課程科目（実習を除く） ・文学部横断型人文プログラム						20単位まで選択科目に算入可
			語学科目必修・選択必修で履修した 以外の指定された語学科目						同一の言語を4単位以上修得 した場合、1言語に限り4単位 を選択科目として算入可

国文学科

国文学科

📄 国文学科について

📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📄 2. 標準配当表

📄 3. 履修上の注意

📄 4. 開講科目担当表

国文学科について

〔教育研究上の目的〕

日本文化研究の中核を担う学科として、国文学・国語学・漢文学の有機的連関のもと、古典学を教育・研究の基盤にすえ、読解力・思考力・表現力を鍛えながら、人間・社会・文化の本質を問う学識と見識を養うこと

〔人材養成の目的〕

専門性と学際性を兼ね備えた多角的な思考方法の養成を重視し、教育・研究の世界をはじめ、国際化のなかで貢献しうる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、原典資料を精密に解読する力を持ち、そこから得られた確実な論拠に基づいて、独自の見解を説得力のある形で公表することができることを目指し、どのような時代・分野を専攻する者でも、国文学（日本文学）・国語学（日本語学）・漢文学の三分野を偏りなく学びます。学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めており、卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 江戸期以前の原典資料が正確に解読できる技術を身につけ、そのために必要な、背景の文学史・国語史の知識を活用する能力
2. 江戸期以降の板本や、近代・現代の多種のメディアを理解し、それらに依存した各時代の言語表現についての、的確な判断力
3. 上代から現代に至る各時代の言語作品の歴史とそれぞれの特徴を、原典資料に基づいて理解し、諸学説の得失を根拠を以て論じる能力
4. 各時代の日本語の音韻・文法特徴を、具体的な言語作品に基づいて調査する方法を修得し、その調査に基づき独自の見解を発表する能力
5. 漢文訓読の技術を身につけ、漢文訓読の歴史を把握した上で、漢文表現が日本語にもたらした精華を理解して、文語文・漢文を味読する能力
6. 上記の知見と判断力・表現力の醸成の上に、卒業論文を執筆し、客観的で着実な原典解読に基づいて、独自の見解を主体的に主張し、しかもそれが独善に陥らないような対話性・協働性

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、国文学（日本文学）・国語学（日本語学）・漢文学の三分野を偏りなく学ぶことにより、日本の言語文化の精髓に達し得るように、原典資料の精密な読解を重視し、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 江戸期以前の原典資料が正確に解読できるような導入・指導を行ない、併せて、そのために必要な背景の文学史・国語史の知識を与える。
2. 江戸期以降の板本や、近代・現代の多種のメディアについての指導を行ない、各時代の言語表現との相関について、的確な判断力を養う。
3. 上代から現代に至る各時代の言語作品の歴史とそれぞれの特徴を、原典資料に基づいて理解させ、主要な学説・論争について、根拠を以て論じ得る力を養う。
4. 各時代の日本語の音韻・文法特徴を、具体的な言語作品に基づいて調査する方法を修得させ、その調査に基づき独自の見解が発表できるように指導する。
5. 漢文訓読の技術を身につけさせ、漢文訓読の歴史について指導した上で、漢文表現が日本語にもたらした精華を紹介して、文語文・漢文を味読させる。
6. 上記の知見と判断力・表現力の醸成の上に、卒業論文を課し、客観的で着実な原典解読に基づいて独自の見解を主体的に主張させ、それが独善に陥らないための対話性・協働性を、論文指導の過程で養う。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降（合計124単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 8単位 [キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
- ・ 選択必修 6単位 [キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
- ・ 選択 12単位

語学科目 4単位

- ・ 必修 4単位

学科科目 94単位

- ・ 学科専門科目（必修 28単位、選択必修 34単位、選択 32単位）

15～21年次生（合計124単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体 2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修 4単位

学科科目 94単位

- ・ 学科専門科目（必修 28単位、選択必修 34単位、選択 32単位）

2. 標準配当表

〔国文学科〕標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリベラルアーツ	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
課題・視座・立場性を考える		2						
選択必修 (6単位)		キリスト教人間学	2			高学年向け科目	4	
選択 (12単位)		※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される						

(注) 語学の履修方法については、「語学科目」のページを参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION 2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (94単位)	必修 (28単位)	古典文学基礎	2		研究法	2	卒業論文Ⅰ(注1)	1
		近代文学基礎	2			卒業論文Ⅱ(注2)	3	
		国語学基礎	2					
		漢文学基礎	2					
		古典文学概説	2					
		近代文学概説	2					
		国語学概説	2					
		漢文学概説	2					
	選択必修 (34単位)	近代文学史		2				
		国語史概説		2				
		漢文学史		2				
		古典文学史A	}	(注3)	内 4 2 単位 科目	古典文学・近代文学特講科目、古典文学講読(注4)	6	
		古典文学史B				古典文学・近代文学演習科目(注5)	12	
		古典文学史C				他に国語学および漢文学より各4単位以上(注6)	12	
		古典文学史D				国語学特講科目、国語学講読(注4)	6	
選択 (32単位)				卒業論文を国文学の分野で作成する場合		12		
				国語学演習科目		12		
				他に国文学および漢文学より各4単位以上(注6)		12		
				漢文学特講科目、漢文学講読(注4)	6			
				漢文学演習科目	12			
他に国文学および国語学より各4単位以上(注6)	12							
				①学科開講科目(基礎科目・文学史・概説科目・研究法、及び同内容の科目の重複履修は認められない)、②課程科目(実習を除く)、③他学部他学科の「学科科目」(外国語科目を除く)、④指定の英語選択科目で充当することができる。ただし、②と③と④で充当できるのは18単位までである。	32			

(注1) 卒業論文Ⅰの評価・成績はP(合格)・X(不合格)により判定される。

(注2) 卒業論文Ⅱは、卒業論文Ⅰを修得していなければ、履修することはできない(同時履修は認められない)。

(注3) 古典文学史A B C Dについては、教職希望者は4科目すべての履修が望ましい。

(注4) 古典文学講読・国語学講読・漢文学講読については、重複履修は認められない。

(注5) 近代文学の分野で作成する場合は、古典文学演習4単位以上を含むこと。

(注6) 演習4単位以上を含むこと。

〔国文学科〕標準配当表

15～21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	※ 学科科目で全学共通として認められる科目(学全科目)は4単位まで全学共通科目の選択科目に充当できる。(17年次生まで) ※ 語学科目は8単位まで全学共通科目の選択科目に充当できる。(注)						
					高学年向け教養科目			2

(注) 語学の履修方法については、「語学科目」のページを参照。

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION 1 ACADEMIC COMMUNICATION 2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (28単位)	古典文学基礎	2		研究法	2	卒業論文Ⅰ(注1)	1	
		近代文学基礎	2				卒業論文Ⅱ(注2)	3	
		国語学基礎	2						
		漢文学基礎	2						
		古典文学概説	2						
		近代文学概説	2						
		国語学概説	2						
	選択必修 (34単位)	近代文学史			2				
		国語史概説			2				
		漢文学史			2				
		古典文学史A	} (注3)		4	内	2	単位	
		古典文学史B							
		古典文学史C							
古典文学史D									
選択 (32単位)							卒業論文を国文学の分野で作成する場合		
							卒業論文を国語学の分野で作成する場合		
							卒業論文を漢文学の分野で作成する場合		
								古典文学・近代文学特講科目、古典文学講読(注4)	
								古典文学・近代文学演習科目(注5)	
								他に国語学および漢文学より各4単位以上(注6)	
								国語学特講科目、国語学講読(注4)	
								国語学演習科目	
								他に国文学および漢文学より各4単位以上(注6)	
								漢文学特講科目、漢文学講読(注4)	
								漢文学演習科目	
								他に国文学および国語学より各4単位以上(注6)	
								32	

- (注1) 卒業論文Ⅰの評価・成績はP(合格)・X(不合格)により判定される。
 (注2) 卒業論文Ⅱは、卒業論文Ⅰを修得していなければ、履修することはできない(同時履修は認められない)。
 (注3) 古典文学史A B C Dについては、教職希望者は4科目すべての履修が望ましい。
 (注4) 古典文学講読・国語学講読・漢文学講読については、重複履修は認められない。
 (注5) 近代文学の分野で作成する場合は、古典文学演習4単位以上を含むこと。
 (注6) 演習4単位以上を含むこと。

3. 履修上の注意



① 学科科目について

- (1) 必修科目は、「標準配当表」により履修することを原則とする。
- (2) 選択必修科目は「標準配当表」に所要単位数が記されている。所要単位以上に履修した場合は、選択科目として認められる。
- (3) 特講・演習科目については、重複履修を認め、所定の単位数に充当する（ただし同内容のものは除く）。
- (4) 演習科目の受講者数は、原則として30人以内とする。登録方法については、在校生ガイダンスの指示に従うこと。
- (5) 他学部・他学科の学科科目〔国文学科「開講科目担当表」所載のものを除く。実習以外の課程科目（科目コード620000番台）を含む。〕および指定の英語選択科目は、18単位まで選択科目として卒業単位数に充当することができる。

② 語学科目について

履修上の注意については要覧「語学科目」のページを参照のこと。

③ 卒業論文について

- (1) 卒業論文を提出する者は、原則としてその前年度までに基礎科目、概説科目、文学史、研究法を履修しなければならない。
- (2) 卒業論文Ⅰ・Ⅱは、最終学年において他の科目と同様に登録しなければならない。また、「卒業論文Ⅰ」は所定の時限に行う各指導教員の論文指導に出席しなければならない。なお、11月末までに提出予定の卒業論文の題目を提出すること。
- (3) 「卒業論文Ⅰ」の評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- (4) 書式について
 - 【ア】規格A4判 縦書き（40000字程度の規模であること）
 -  論文本文の前に、梗概（800字以内）を添えること（別ファイルにする必要はない）。
 - 【イ】ファイルPDF形式
 - 【ウ】サイズ20Mバイト以内
 -  論文の性質上どうしても横書きにせねばならない場合、サイズが20Mバイトに収まらない場合、PDF形式で提出が出来ない場合等の規格外にならざるを得ない場合には、提出期限前に十分な余裕を持って指導教員に相談し、その指示に従うこと。
- (5) 提出期間：2025年12月8日（月）～12日（金）
- (6) 提出場所・提出要領は、秋学期のはじめにMy Sophiaに掲示する。
- (7) 「卒業論文Ⅰ」、「卒業論文Ⅱ」は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。
- (8) 「卒業論文Ⅰ」を春学期、「卒業論文Ⅱ」を秋学期の原則通りに履修しない場合は、履修登録前に学科長に相談すること。

④ 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

i 注1) 春学期・秋学期が履修登録単位数上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

i 注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

(単位)

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	-
30	30	49	30	30	49	30	30	49	30	30	49	196

i 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

⑤ 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧 [ガイド・資料編] を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
CLT	CHINESE LITERATURE	漢文学
CUL	CULTURE	文化
GRP	GRADUATION PROJECT	卒業論文
JAL	JAPANESE LANGUAGE STUDIES	国語学
JLT	JAPANESE LITERATURE	国文学
TCP	TEACHER-TRAINING COURSE PROGRAM	教職科目

⑥ 文学部横断型人文学プログラムについて

文学部は、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細については「文学部横断型人文学プログラム」のページを参照すること。

⑦ その他

(1) 本学大学院に進学を希望する4年次生は、大学院文学研究科国文学専攻の授業科目を履修することができる。履修した授業科目は、大学院進学後、定められた単位数の範囲内で、入学前既修得単位として認定される。ただし、学部卒業に必要な単位としては認められない。

(2) この制度を利用するには、学科・専攻の許可を得なければならない。そのための条件・手続き等については別途定め、学期末に実施する在校生ガイダンスで周知する。

4. 開講科目担当表

開講科目担当表 [国文学科]

学科科目（必修科目）・・・28単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	181406	JLT112-15 j00	古典文学基礎	2	春	山本 章博	1		
	181503	JLT114-15 j00	近代文学基礎	2	春	木村 洋	1		
	181702	JAL102-15 j00	国語学基礎	2	1Q	服部 隆	1		週2開講科目
	181904	CLT103-15 j00	漢文学基礎	2	春	福井 辰彦	1		
	180240	JLT109-15 j00	近代文学史	2	秋	木村 洋・福井 拓也	1・2		
	180106	JLT201-15 j00	古典文学概説	2	秋	本廣 陽子	1		
	180206	JLT202-15 j00	近代文学概説	2	春	福井 拓也	1		
	180312	JAL203-15 j00	国語学概説	2	2Q	服部 隆	1		週2開講科目
	180313	JAL204-15 j00	国語史概説	2	秋	服部 隆	1・2		
	180802	CLT203-15 j00	漢文学概説	2	秋	長尾 直茂	1		
	180803	CLT204-15 j00	漢文学史	2	春	長尾 直茂	1・2		
	182004	GRP303-15 j00	研究法	2	春	コーディネータ 山本 章博 福井 拓也	3		輪講
	181201	GRP401-15 j00	卒業論文Ⅰ	1	春	国文学科教員	4		春の履修を原則とする
	181202	GRP402-15 j00	卒業論文Ⅱ	3	秋	国文学科教員	4		秋の履修を原則とする

学科科目（選択必修科目）・・・34単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	180230	JLT105-15 j00	古典文学史A	2	春	瀬間 正之	1・2		
	180231	JLT106-15 j00	古典文学史B	2	春	本廣 陽子	1・2		
	180232	JLT107-15 j00	古典文学史C	2	秋	山本 章博	1・2		
	180233	JLT108-15 j00	古典文学史D	2	秋	*津田 眞弓	1・2		
	181407	JLT205-15 j00	古典文学講読	2	秋	*上野 美穂子	2~4		
	181802	JAL205-15 j00	国語学講読	2	秋	服部 隆	2~4		
	181905	CLT205-15 j00	漢文学講読	2	秋	福井 辰彦	2~4		
	183760	JLT301-15 j00	古典文学特講Ⅰa	2	休講		2~4		
	183761	JLT302-15 j00	古典文学特講Ⅰb	2	秋	瀬間 正之	2~4		
	183762	JLT303-15 j00	古典文学特講Ⅱa	2	春	本廣 陽子	2~4		
	183763	JLT304-15 j00	古典文学特講Ⅱb	2	秋	*田村 隆	2~4		
	183764	JLT305-15 j00	古典文学特講Ⅲa	2	休講		2~4		
	183765	JLT306-15 j00	古典文学特講Ⅲb	2	休講		2~4		
	183766	JLT307-15 j00	古典文学特講Ⅳa	2	春	山本 章博	2~4		
	183767	JLT308-15 j00	古典文学特講Ⅳb	2	秋	山本 章博	2~4		
	183770	JLT309-15 j00	近代文学特講Ⅰa	2	春	木村 洋	2~4		
	183771	JLT310-15 j00	近代文学特講Ⅰb	2	秋	木村 洋	2~4		
	183772	JLT311-15 j00	近代文学特講Ⅱa	2	春	福井 拓也	2~4		
	183773	JLT312-15 j00	近代文学特講Ⅱb	2	秋	福井 拓也	2~4		
	187827	JAL301-15 j00	国語学特講Ⅰa	2	春	服部 隆	2~4		
	187828	JAL302-15 j00	国語学特講Ⅰb	2	秋	服部 隆	2~4		
	187829	JAL303-15 j00	国語学特講Ⅱa	2	休講		2~4		
	187830	JAL304-15 j00	国語学特講Ⅱb	2	秋	*櫻井 豪人	2~4		
	187831	JAL305-15 j00	国語学特講Ⅲa	2	休講		2~4		
	187832	JAL306-15 j00	国語学特講Ⅲb	2	休講		2~4		
	189003	CLT301-15 j00	漢文学特講Ⅰa	2	春	長尾 直茂	2~4		
	189004	CLT302-15 j00	漢文学特講Ⅰb	2	秋	長尾 直茂	2~4		
	189005	CLT303-15 j00	漢文学特講Ⅱa	2	春	福井 辰彦	2~4		
	189006	CLT304-15 j00	漢文学特講Ⅱb	2	秋	福井 辰彦	2~4		
	183201	JLT401-15 j00	古典文学演習Ⅰa	2	春	瀬間 正之	2~4		[30名]
	183202	JLT402-15 j00	古典文学演習Ⅰb	2	秋	瀬間 正之	2~4		[30名]
	183203	JLT403-15 j00	古典文学演習Ⅱa	2	春	本廣 陽子	2~4		[30名]
	183204	JLT404-15 j00	古典文学演習Ⅱb	2	秋	本廣 陽子	2~4		[30名]
	183205	JLT405-15 j00	古典文学演習Ⅲa	2	休講		2~4		[30名]
	183206	JLT406-15 j00	古典文学演習Ⅲb	2	休講		2~4		[30名]
	183207	JLT407-15 j00	古典文学演習Ⅳa	2	休講		2~4		[30名]
	183208	JLT408-15 j00	古典文学演習Ⅳb	2	春	*丸井 貴史	2~4		[30名]
	183209	JLT409-15 j00	古典文学演習Ⅴa	2	春	山本 章博	2~4		[30名]
	183210	JLT410-15 j00	古典文学演習Ⅴb	2	秋	山本 章博	2~4		[30名]
	183251	JLT411-15 j00	近代文学演習Ⅰa	2	春	木村 洋	2~4		[30名]
	183252	JLT412-15 j00	近代文学演習Ⅰb	2	秋	木村 洋	2~4		[30名]
	183253	JLT413-15 j00	近代文学演習Ⅱa	2	春	福井 拓也	2~4		[30名]
	183254	JLT414-15 j00	近代文学演習Ⅱb	2	秋	福井 拓也	2~4		[30名]
	183255	JLT415-15 j00	近代文学演習Ⅲa	2	春	*大塚 常樹	2~4		[30名]
	183256	JLT416-15 j00	近代文学演習Ⅲb	2	秋	*大塚 常樹	2~4		[30名]

183301	JAL401-15j00	国語学演習 I a	2	春	服部 隆	2~4	[30名]
183302	JAL402-15j00	国語学演習 I b	2	休講		2~4	[30名]
183303	JAL403-15j00	国語学演習 II a	2	春	*星野 佳之	2~4	[30名]
183304	JAL404-15j00	国語学演習 II b	2	秋	*星野 佳之	2~4	[30名]
183305	JAL405-15j00	国語学演習 III a	2	休講		2~4	[30名]
183306	JAL406-15j00	国語学演習 III b	2	秋	*櫻井 豪人	2~4	[30名]
183351	CLT401-15j00	漢文学演習 I a	2	春	長尾 直茂	2~4	[30名]
183352	CLT402-15j00	漢文学演習 I b	2	秋	長尾 直茂	2~4	[30名]
183353	CLT403-15j00	漢文学演習 II a	2	春	福井 辰彦	2~4	[30名]
183354	CLT404-15j00	漢文学演習 II b	2	秋	福井 辰彦	2~4	[30名]

学科科目（選択科目）・・・32単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	186822	CUL101-15e00	日本文化史 I	2	休講		1~4			
	186821	CUL102-15e00	日本文化史 II	2	秋	*SCHWEMMER Patrick	1~4	○		
	188107	TCP101-15j00	書道 I a	1	春	*永由 徳夫	1~4		[40名]	
	188108	TCP102-15j00	書道 I b	1	秋	*永由 徳夫	1~4		[40名]	
	188208	TCP103-15j00	書道 II a	1	春	*永由 徳夫	1~4		[40名]	
	188209	TCP104-15j00	書道 II b	1	秋	*永由 徳夫	1~4		[40名]	
	187519	TCP301-15j00	国語科教育法 I	2	秋	*上野 美穂子	3			
	187520	TCP302-15j00	国語科教育法 II	2	春	*小島 和	3			
	187521	TCP303-15j00	国語科教育法 III	2	春	*比留間 健一	3・4			
	187522	TCP304-15j00	国語科教育法 IV	2	秋	*下田 祐介	3・4			
	他学科開講科目	123004	HUM317-12j00	日中文化交渉史A	2					文学部横断型人文学プログラム
		123005	HUM318-12j00	日中文化交渉史B	2					文学部横断型人文学プログラム
		123006	HUM319-12j00	キリシタン文化史A	2					文学部横断型人文学プログラム
		127206	PHL329-11j00	美学 I	2					(他) 哲学科
127207		PHL330-11j00	美学 II	2					(他) 哲学科	
127905		PHL335-11j00	芸術学 I	2					(他) 哲学科	
127906		PHL336-11j00	芸術学 II	2					(他) 哲学科	
129001		PHL340-11j00	仏教思想	2					(他) 哲学科	
162605		ART301-14j00	日本美術史	2					(他) 史学科	
165701		ART302-14j00	東洋美術史	2					(他) 史学科	
174004	ART303-14j00	西洋美術史	2					(他) 史学科		
263503	JRN211-19j00	出版論 I	2					(他) 新聞学科		
263504	JRN212-19j00	出版論 II	2					(他) 新聞学科		
その他		文学部横断型人文学プログラム		「文学部横断型人文学プログラム」の項を参照すること			18単位まで選択科目に算入可			
		他学部他学科科目・課程科目（実習を除く）		各開講科目担当表を参照						
		学科指定の英語選択科目		次の表を参照			2~4			

学科科目（選択科目）に算入できる英語選択科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
英語指定選択科目	GSP21000	ENG201-02e00	LITERATURE IN ENGLISH A1	2					(他) 全学共通科目
	GSP21010	ENG202-02e00	LITERATURE IN ENGLISH B1	2					(他) 全学共通科目
	GSP21020	ENG203-02e00	LITERATURE IN ENGLISH A2	2					(他) 全学共通科目
	GSP21030	ENG204-02e00	LITERATURE IN ENGLISH B2	2					(他) 全学共通科目
	GSP21400	ENG241-02e00	JAPANOLOGY (HISTORY) A1	2					(他) 全学共通科目
	GSP21360	ENG237-02e00	JAPANOLOGY (LITERATURE) A1	2					(他) 全学共通科目
	GSP21370	ENG238-02e00	JAPANOLOGY (LITERATURE) B1	2					(他) 全学共通科目
	GSP21380	ENG239-02e00	JAPANOLOGY (LITERATURE) A2	2					(他) 全学共通科目
	GSP21390	ENG240-02e00	JAPANOLOGY (LITERATURE) B2	2					(他) 全学共通科目

英文学科

英文学科

📁 英文学科について

📁 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📁 2. 標準配当表

📁 3. 履修上の注意

📁 4. 開講科目担当表

英文学科について

〔教育研究上の目的〕

英米の文学、思想、文化の知見を広めるとともに、体系的かつ批判的な視点から問題を見つけ、調査・分析によって得た結果を日英両言語で論理的に伝達する能力を身につけること

〔人材養成の目的〕

言語、文化、思想、歴史、社会の深い理解に基づく見識と高度なコミュニケーション能力を用い、国際社会において現実に起こりうる未知の諸問題に対処できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科では、人間的営為に必然的に付随する意味の多義性、曖昧さを読み解くためのリテラシーを獲得する人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 日本語と英語で現実の表象の仕方が異なることを理解する能力と、発信・受信の双方向における、言語表現の多様性への感受性
2. 文化の多様性、異文化理解といった概念を、社会の表層を上滑りする言説としてではなく、自らの言葉で再構築、再解釈する必要性を認識するために不可欠な読解力、思考力、想像力、表現力
3. 知的訓練を体系的に積み重ねることによって、社会のさまざまな側面で遭遇する現実的な課題に対し、自らの置かれた立場を見失うことなく対処する能力
4. 言語の有用的側面の先に存在する、学問という知的営為がもたらす豊かさの重要性を実感する能力
5. 日英両語における高水準の言語能力および英語圏の言語、文学、歴史、文化に関する系統的な専門知識を修得し、それを実社会での生活や仕事に活用する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、言語の社会的側面と言語芸術としての側面の両者に重点を置くことで、リテラシー獲得のための相乗効果が得られるよう、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 4年間の学修過程のなかで、3つに大別された専門領域コースのいずれかを選択し、それぞれの領域に必要な専門的知識を順を追って体系的に学ぶことにより、系統的な知識の獲得、理解、応用の実現を可能にする。
2. 知識の享受、個々人での読解、学生相互間での議論、他者に向けてのプレゼンテーション、教員との双方向的な意見交換といった多様な知的訓練を織り交ぜることで、理論と実践両面における汎用的な言語表現能力を体得させる。
3. 4年間にわたり、自習も含めた自立的、主体的な学修に裏打ちされたスキル・クラスを通して英語の高度なリテラシーを獲得すると同時に、その学修過程を、日本語という第一言語についての知識と運用能力を意識的に捉え直す契機とする。
4. 英語という他者の言語で書かれた他者の体験についてのテキストを精読することで、言語の意味作用の多義性に意識的になるようにする。
5. 系統的に修得された英語圏の言語、文化、歴史に関する知識の活用として、英語教員や翻訳家などの専門職養成科目を配置する。

6. 修得した専門分野の知識力、言語力、思考力の集大成として、日本語ないし英語で独創的かつ論理的な卒業論文を作成させる。

1. 卒業に要する科目単位数の最低基準

22年次生以降（合計124単位）

全学共通科目 22単位

- ・ 必修 8単位 [キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
- ・ 選択必修 6単位 [キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
- ・ 選択 8単位

語学科目 8単位

- ・ 必修 8単位

学科科目 94単位

- ・ 学科専門科目（必修 44単位、選択必修 20単位、選択 30単位）

21年次生以前（合計124単位）

全学共通科目 22単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体 2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 16単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 8単位

- ・ 必修 8単位

学科科目 94単位

- ・ 学科専門科目（必修 44単位、選択必修 20単位、選択 30単位）

2. 標準配当表

[英文学科] 標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	(8単位) 必修	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリハビリアート	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
		課題・視座・立場性を考える	2					
	(6単位) 選択必修			キリスト教人間学	2			
	(8単位) 選択					高学年向け科目		4
		※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される						

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (8単位) 必修								8
	英語以外の指定された同一言語(注1)							

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、「語学科目」のページを参照。

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (44単位)	MORNING ENGLISH 1	2	CRITICAL READING 1	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	CLIL-BASED SEMINAR 1	2
		MORNING ENGLISH 2	2	CRITICAL READING 2	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	CLIL-BASED SEMINAR 2	2
		READING & RESEARCH 1	4	WRITING WORKSHOP 1	2				
		READING & RESEARCH 2	4	WRITING WORKSHOP 2	2				
		DISCUSSION & PRESENTATION 1	4						
		DISCUSSION & PRESENTATION 2	4						
		STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2				RESEARCH PROJECT 1	2	
		STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2				RESEARCH PROJECT 2	2	
	選択必修 (16単位)		SOPHOMORE SEMINAR 1	2					
			SOPHOMORE SEMINAR 2	2					
			HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1					2	
			HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 2					2	
			HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 3					2	
			HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 4					2	
			HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1					2	
			HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2					2	
			HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 3					2	
			HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 4					2	
	選択必修 (4単位)				[BRITISH STUDIES]				
					ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2			
					ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2			
					[AMERICAN STUDIES]				
					AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2			
					AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2			
	選択 (30単位)				[LANGUAGE STUDIES]				
					LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2			
					LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2			
					(注2)				
			選択科目					30	

(注2) コース制については「履修上の注意」を参照。

[英文学科] 標準配当表

21年次生以前

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (22単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (16単位)	※ 学科科目で全学共通科目として認められる科目 (学全科目) は4単位まで卒業単位に充当できる (17年次生まで) ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (8単位)	必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)						8

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、「語学科目」のページを参照。

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (94単位)	必修 (44単位)	MORNING ENGLISH 1	2	CRITICAL READING 1	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	CLIL-BASED SEMINAR 1	2
		MORNING ENGLISH 2	2	CRITICAL READING 2	2	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	CLIL-BASED SEMINAR 2	2
	READING & RESEARCH 1	4	WRITING WORKSHOP 1	2					
	READING & RESEARCH 2	4	WRITING WORKSHOP 2	2					
選択必修 (16単位)	DISCUSSION & PRESENTATION 1	4					RESEARCH PROJECT 1	2	
	DISCUSSION & PRESENTATION 2	4					RESEARCH PROJECT 2	2	
選択必修 (4単位)	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2							
	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2							
選択 (30単位)			HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1						
			HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 2						
				HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 3					
				HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 4					
				HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1					
				HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2					
				HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 3					
				HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 4					
				HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1					
				HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 2					
				[BRITISH STUDIES]					
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1		2			
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2		2			
				[AMERICAN STUDIES]					
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1		2			
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 2		2			
				[LANGUAGE STUDIES]					
				LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1		2			
				LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2		2			
								(注2)	
				選択科目				30	

(注2) コース制については「履修上の注意」を参照。

3. 履修上の注意

① 年間最高履修限度

履修登録単位数は、各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修することは出来ない。

i 注1) 春学期・秋学期が履修登録単位上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることは出来ない。

i 注2) 3年次生以上の資格取得のための履修の場合、学科長の許可により学事センターに申し出ることによって、最高履修限度を超えての履修登録が認められる場合がある。希望者は履修登録期間前に学科長に相談をすること。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計 (単位)
春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	春	秋	年間	-
28	28	48	28	28	48	28	28	48	28	28	48	192

i 春：春学期・1Q・2Q科目、秋：秋学期・3Q・4Q科目

② 科目のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについては、履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
ELT	ENGLISH LITERATURE	英文学
LGE	LINGUISTICS (TESOL)	言語学 (英語教授法)
LNG	LINGUISTICS	言語学

③ 語学科目 (全学共通科目としての外国語科目) について

語学科目については、必修として英語以外の指定された同一言語を8単位履修すること。

異なる言語をあわせて8単位履修しても卒業の要件を満たしたことはない。なお、履修上の注意に関しては、要覧「語学科目」のページを参照のこと。

④ 文学部横断型人文学プログラムについて

2015年度より、「文学部横断型人文学プログラム」を開設している。詳細は「文学部横断型人文学プログラム」のページを参照すること。

なお、プログラム開講科目は、学科選択科目として卒業に要する単位数に充当することができる。プロジェクト・ゼミの取扱いは年次によって異なるため、詳細は「文学部横断型人文学プログラム」のページを参照すること。

⑤ 大学院入学前科目履修制度について

4年次生は、授業担当教員および専攻主任の許可を得て、大学院文学研究科英米文学専攻の授業科目を履修することができる。履修した授業科目は、大学院進学後、定められた単位数の範囲内で、入学前既習得単位として認定される。ただし、学部卒業に必要な単位としては認められないので注意すること。

⑥ RESEARCH PROJECT 1・2について

- a. 学生は3年次の12月（年度によっては1月）にRESEARCH PROJECT 1・2に関するガイダンスを受け、指導にしたがってRESEARCH PROJECT 1・2を履修すること。
- b. RESEARCH PROJECT 2は、RESEARCH PROJECT 1の教員（メンター）との個人面談によって進められる。メンターの指導を受けながらRESEARCH PROJECTの論文を完成させること。
なお、RESEARCH PROJECT 2に関しても、他の科目と同様、Loyolaでの履修登録が必要である。
- c. RESEARCH PROJECT 1・2を同時に履修することはできない。
なお、長期交換留学プログラムに参加した学生については別途規定を定める。
当該学生は交換留学中もMy Sophiaにある学科掲示板の指示に従うこと。
- d. RESEARCH PROJECT論文形式規則
 - ア 用語：日本語または英語。論文の途中で用語を変更してはならない。
 - イ 枚数：日本語論文は、とびらと目次を除いて25頁程度（注と引証資料は25頁に含まれる）。
ワードプロセッサを使用すること（A4サイズの内紙に1行35字、1ページ25行）。
英語論文は、7,000～8,000 words程度。日英どちらも上限は定めない。
 - ウ その他：論文の細かい書式等については、英文学科ホームページ上の「卒業論文の手引」に従うこと。期限内に提出すること。
- e. 提出要領
 - ア 期間：2025年12月8日（月）～12日（金）
 - イ 場所：My Sophia掲示板に掲示する。
 - ウ 時間：My Sophia掲示板に掲示する。
- f. RESEARCH PROJECT 1・2は必修科目であるが、所定の手続きにより履修中止（W）を認める。
- g. RESEARCH PROJECT 1の指導は原則として水曜5限に行う。

⑦ 学科科目について

I 必修科目

(1) 語学・基礎科目(Foundation Skills)について

- a. READING & RESEARCH 1・2、CRITICAL READING 1・2、DISCUSSION & PRESENTATION 1・2、WRITING WORKSHOP 1・2は指定されたクラスに参加すること。
- b. MORNING ENGLISH 2の単位を修得するためには、TEAPのスコア提出が必要である。
毎年12月頃に学内で行われるAC-TEAPを受験すること。受験しない場合は、MORNING ENGLISH 2の単位の修得ができないので注意すること。

(2) 専門・基礎科目について

1年次にSTRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2を履修すること。

(3) ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1・2とCLIL-BASED SEMINAR 1・2について

ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1・2とCLIL-BASED SEMINAR 1・2は、Loyolaで行う抽選登録をもってクラス分けを行う。

春学期と秋学期の抽選登録期間に必ずエントリーをすること。

詳細は、学科ガイダンスで配布する演習科目についての資料を参照すること。

なお、再履修の学生は学科が履修クラスを調整するため、学科に再履修希望届を提出すること。

(4) RESEARCH PROJECT 1・2について

学生は3年次の12月にRESEARCH PROJECT 1・2に関するガイダンスを受け、指導にしたがってRESEARCH PROJECT 1・2を履修する必要がある。
詳細は上記「◎RESEARCH PROJECT 1・2について」を参照すること。

II 選択必修科目

(1) 専門・研究科目について

【22年次生以降】

- a. 2・3・4年次にHISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4、HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4、HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2の中から適宜計画的に履修すること。
- b. 2年次には上記のHISTORY系科目のほか、SOPHOMORE SEMINAR 1、SOPHOMORE SEMINAR 2のいずれか1科目のみ履修することもできる。原則として履修登録時の学教科目のGPA2.8以上を履修条件とする。
- c. 2年次の年度途中で、British Studies、American Studies、Language Studiesの3コースの中から専門としたいコースについて学科に希望票を提出すること。提出時期については追って指示する。各学生がどのコースに所属するかについては、3月末の在校生ガイダンスで発表される。
- d. 3年次に、専門とするコースのSeminarを履修すること。
- e. ENGLISH STUDIES SEMINAR 1・2、AMERICAN STUDIES SEMINAR 1・2、LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1・2は、Loyolaで行う抽選登録をもってクラス分けを行う。春学期と秋学期の抽選登録期間に必ずエントリーをすること。
- f. SEMINAR 1とSEMINAR 2は、それぞれ異なる教員のものを履修すること。
- g. 選択必修科目については、必要単位を超えて履修しても、超過分を選択科目として充当することはできない。

【21年次生まで】

- a. 2・3・4年次にHISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4、HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1・2・3・4、HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1・2の中から適宜計画的に履修すること。
- b. 2年次の年度途中で、British Studies、American Studies、Language Studiesの3コースの中から専門としたいコースについて学科に希望票を提出すること。提出時期については追って指示する。各学生がどのコースに所属するかについては、3月末の在校生ガイダンスで発表される。
- c. 3年次に、専門とするコースのSeminarを履修すること。
- d. ENGLISH STUDIES SEMINAR 1・2、AMERICAN STUDIES SEMINAR 1・2、LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1・2は、Loyolaで行う抽選登録をもってクラス分けを行う。春学期と秋学期の抽選登録期間に必ずエントリーをすること。
- e. SEMINAR 1とSEMINAR 2は、それぞれ異なる教員のものを履修すること。
- f. 選択必修科目については、必要単位を超えて履修しても、超過分を選択科目として充当することはできない。

III 選択科目

- (1) 開講科目担当表の履修度の列を参照し、専門とするコースの選択科目を8単位以上履修すること。

(2) 英語によって行われる講義を4単位以上履修すること。なお、対象はSPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES/SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES/SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIESの末尾にIN ENGLISHと記載された科目のみとなる。

(3) 他学部・他学科の学科科目、全学共通科目について

【22年次生以降】

他学部・他学科の学科科目(外国語を除き、実習以外の課程科目〈科目コード620000番台〉を含む)は、文学部横断型人文学プログラムと合わせて、12単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。全学共通科目の選択科目/選択必修科目のうち、「視座」カテゴリーのレベル200~400番台を2単位まで学科の選択科目として卒業単位に充当することができる。

【21年次生まで】

他学部・他学科の学科科目(外国語を除き、実習以外の課程科目〈科目コード620000番台〉を含む)は、文学部横断型人文学プログラムと合わせて、14単位まで選択科目として卒業単位に充当することができる。

(4) 科目コードが同一コードでも、授業内容が異なっていれば履修することができる。

(5) 英文学科開講科目中、PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2、PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2、「教科に関する科目」を除く選択科目については、担当教員、科目名が同じものを繰り返し履修しても、卒業に必要な単位として算入される。ただし、同一科目を繰り返し履修するためには、前年度と内容が異なることを確認し、担当教員の許可を得なければならない。

(6) PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2、PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1 & 2については、TEAPないしTOEFLのスコアによる履修制限がある。教職課程履修者以外の履修は認めない。また、前者を2単位以上修得していない場合は、後者を履修することはできない。修得した単位は、Language Studiesを専門とする学生のみ自学科専門コース選択科目として算入可能。その他のコース選択者が履修した場合は各コースの選択科目としては算入されないが、英文学科の選択科目としては算入される。

(7) 学科開講「教科に関する科目」はLanguage Studiesを専門とする学生もしくは教職課程を履修している学生のみ履修することができる。

単位修得した場合、Language Studiesの学生は自学科専門コース選択科目として充当され、それ以外の学生は他学部他学科科目として充当される。

(8) 2019年度より学科開講「教科に関する科目」のうち、「英文法概説I」「英文法概説II」に限り、全ての英文学科生が履修できることとした。

また単位修得した場合、18年次生以前は従前の取扱い(7)のままだが、19年次生以降の学生については、Language Studiesの学生の場合、自学科専門コース選択科目として充当され、それ以外の学生はコース外の自学科選択科目として充当される。

4. 開講科目担当表

開講科目担当表 [英文学科]

学科科目（必修科目）・・・44単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	200003	ELT101-16m00	MORNING ENGLISH 1	2	春	下條 恵子	1		
	200004	ELT102-16m00	MORNING ENGLISH 2	2	秋	下條 恵子	1		
	200005	ELT103-16m00	READING & RESEARCH 1	4	春	永富 友海	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	西 能史	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	小河 舜	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	田島 優子	1		
			READING & RESEARCH 1	4	春	下條 恵子	1		
	200006	ELT104-16m00	READING & RESEARCH 2	4	秋	永富 友海	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	西 能史	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	田島 優子	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	町本 亮大	1		
			READING & RESEARCH 2	4	秋	小河 舜	1		
	200012	ELT105-16e00	DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	NG Lay Sion	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	*NGUYEN Trang	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	PINNER Richard	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	*HEMINGTON Tim	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 1	4	春	CHEETHAM Dominic	1	○	
	200013	ELT106-16e00	DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	*NGUYEN Trang	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	NG Lay Sion	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	PINNER Richard	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	*HEMINGTON Tim	1	○	
			DISCUSSION & PRESENTATION 2	4	秋	CHEETHAM Dominic	1	○	
	200023	ELT107-16m00	WRITING WORKSHOP 1	2	休講		2		
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	PINNER Richard	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	NG Lay Sion	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	*LOWENSTEIN Marc	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	*HEMINGTON Tim	2	○	
			WRITING WORKSHOP 1	2	春	*NGUYEN Trang	2		
			WRITING WORKSHOP 1	2	春		2		
	200024	ELT108-16m00	WRITING WORKSHOP 2	2	休講		2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	PINNER Richard	2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	NG Lay Sion	2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	*LOWENSTEIN Marc	2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	*HEMINGTON Tim	2	○	
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋	*NGUYEN Trang	2		
			WRITING WORKSHOP 2	2	秋		2		
	200032	ELT201-16m00	CRITICAL READING 1	2	春	*名和 玲	2		
			CRITICAL READING 1	2	春	町本 亮大	2		
			CRITICAL READING 1	2	春	*岩川 倫子	2		
			CRITICAL READING 1	2	春	山口 和彦	2		
			CRITICAL READING 1	2	春		2		
	200033	ELT202-16m00	CRITICAL READING 2	2	秋	*岩川 倫子	2		
			CRITICAL READING 2	2	秋	山口 和彦	2		
			CRITICAL READING 2	2	秋	永富 友海	2		
CRITICAL READING 2			2	秋	田島 優子	2			
CRITICAL READING 2			2	秋		2			
200043	ELT203-16e00	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	*CANNELL David	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	CHEETHAM Dominic	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	NG Lay Sion	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	*PAZDZIORA John Patrick	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 1	2	春	PINNER Richard	3	○	[23名]	
200044	ELT204-16e00	ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	*CANNELL David	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	NG Lay Sion	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	*LOWENSTEIN Marc	3	○	[23名]	
		ADVANCED ACADEMIC ENGLISH 2	2	秋	PINNER Richard	3	○	[23名]	
213440	ELT415-16e00	CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	NG Lay Sion	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	PINNER Richard	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	*HEMINGTON Tim	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	*PAZDZIORA John Patrick	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 1	2	春	*LOWENSTEIN Marc	4	○	[22名]	
213441	ELT416-16e00	CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	CHEETHAM Dominic	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	NG Lay Sion	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	*BERMAN Naomi	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	*PAZDZIORA John Patrick	4	○	[22名]	
		CLIL-BASED SEMINAR 2	2	秋	*LOWENSTEIN Marc	4	○	[22名]	
200504	LNG203-16m00	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2	春	小河 舜	1			
200505	LNG204-16m00	STRUCTURE OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2	秋	小河 舜	1			

200703	GRP403-16m00	RESEARCH PROJECT 1 : SEMINAR	2	春	英文学科教員	4		
200704	GRP404-16m00	RESEARCH PROJECT 2 : TUTORIAL	2	秋	英文学科教員	4		

学科科目(選択必修科目)・・・20単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択必修科目 (Lecture)	200305	ELT207-16m00	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 1	2	春	西能史	2~4		[135名]	
	200306	ELT208-16m00	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 2	2	秋	町本 亮大	2~4		[135名]	
	200307	ELT209-16m00	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 3	2	春	永富 友海	2~4		[135名]	
	200308	ELT210-16m00	HISTORY OF ENGLISH LITERATURE & CULTURE 4	2	秋	*小室 龍之介	2~4		[135名]	
	200407	ELT213-16m00	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 1	2	春	田島 優子	2~4		[135名]	
	200408	ELT214-16m00	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 2	2	秋	大塚 寿郎	2~4		[135名]	
	200409	ELT215-16m00	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 3	2	春	山口 和彦	2~4		[135名]	
	200410	ELT216-16m00	HISTORY OF AMERICAN LITERATURE & CULTURE 4	2	秋	下條 恵子	2~4		[135名]	
	200601	LNG205-16m00	HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 1	2	春	下永 裕基	2~4			
	200602	LNG206-16m00	HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE 2	2	春	*出崎 彰人	2~4			
選択必修科目 (Seminar)	200309	ELT217-16m00	SOPHOMORE SEMINAR 1	2	春	町本 亮大	2		[20名] 22年次生以降対象	
	200411	ELT218-16m00	SOPHOMORE SEMINAR 2	2	秋	下條 恵子	2		[20名] 22年次生以降対象	
	British Studies	213434	ELT411-16m00	ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	春	町本 亮大	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	春	永富 友海	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	春	*浦口 理麻	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	春	西能史	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4		[12名]
	American Studies	213435	ELT412-16m00	ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	町本 亮大	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	永富 友海	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	*浦口 理麻	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	秋	西能史	3・4		[12名]
				ENGLISH STUDIES SEMINAR 2	2	休講		3・4		[12名]
	Language Studies	213436	ELT413-16m00	AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	春	山口 和彦	3・4		[12名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	春	飯野 友幸	3・4		[12名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	春	田島 優子	3・4		[12名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4		[12名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4		[12名]
	Language Studies	213437	ELT414-16m00	AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	秋	山口 和彦	3・4		[12名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	秋	飯野 友幸	3・4		[12名]
				AMERICAN STUDIES SEMINAR 2	2	秋	下條 恵子	3・4		[12名]
AMERICAN STUDIES SEMINAR 2				2	休講		3・4		[12名]	
AMERICAN STUDIES SEMINAR 2				2	休講		3・4		[12名]	
Language Studies	213438	LNG401-16m00	LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	秋	小河 舜	3・4		[13名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	春	横本 勝也	3・4		[13名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4		[13名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4		[13名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 1	2	休講		3・4		[13名]	
Language Studies	213439	LNG402-16m00	LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2	春	池田 真	3・4		[13名]	
			LANGUAGE STUDIES SEMINAR 2	2	秋	池田 真	3・4		[13名]	

学科科目(選択科目)・・・30単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	214430	ELT303-16m00	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1	2	春	西能史	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1	2	春	永富 友海	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1	2	春	町本 亮大	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 1	2	休講		2~4		
	214431	ELT304-16e00	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 1	2	春	CHEETHAM Dominic	2~4	○	
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 1	2	休講		2~4		
	214432	ELT305-16m00	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 2	2	秋	西能史	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 2	2	休講		2~4		
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 2	2	秋	町本 亮大	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES 2	2	休講		2~4		
214433	ELT306-16e00	SPECIAL TOPICS IN BRITISH STUDIES IN ENGLISH 2	2	休講		2~4			

American Studies	214530	ELT309-16m00	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	休講		2~4		
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	春	下條 恵子	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	休講		2~4		
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	春	飯野 友幸	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 1	2	休講		2~4		
	214531	ELT310-16e00	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES IN ENGLISH 1	2	春	NG Lay Sion	2~4	○	
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES IN ENGLISH 1	2	休講		2~4		
	214532	ELT311-16m00	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 2	2	秋	下條 恵子	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 2	2	秋	*貞廣 真紀	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 2	2	秋	田島 優子	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES 2	2	休講		2~4		
	214533	ELT312-16e00	SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES IN ENGLISH 2	2	休講		2~4		
SPECIAL TOPICS IN AMERICAN STUDIES IN ENGLISH 2			2	秋	NG Lay Sion	2~4	○		
Language Studies	214630	LNG303-16m00	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 1	2	休講		2~4		
			SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 1	2	春	小河 舜	2~4		
	214632	LNG305-16e00	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES IN ENGLISH 1	2	春	PINNER Richard	2~4	○	
	214631	LNG304-16m00	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 2	2	秋	*磐崎 弘貞	2~4		
			SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES 2	2	秋	小河 舜	2~4		
214633	LNG306-16e00	SPECIAL TOPICS IN LANGUAGE STUDIES IN ENGLISH 2	2	秋	PINNER Richard	2~4	○		
その他	214726	ELT315-16m00	TRANSLATION THEORY 1	2	休講		2~4	輪講、[60名]	
			TRANSLATION THEORY 2	2	秋	コーディネータ 飯野 友幸	2~4	輪講、[60名]	
	214740	ELT319-16m00	TRANSATLANTIC/TRANSPACIFIC LITERATURE	2	春	*宇沢 美子	2~4		
	214741	ELT320-16m00	ADAPTATION STUDIES 1	2	春	*杉野 健太郎	2~4		
	214742	ELT321-16m00	ADAPTATION STUDIES 2	2	休講		2~4		
	214743	ELT322-16m00	ANGLOPHONE LITERATURE	2	休講		2~4		
	174004	ART303-14 j00	西洋美術史	2				(他) 史学科	
	127905	PHL335-11 j00	芸術学 I	2				(他) 哲学科	
	127906	PHL336-11 j00	芸術学 II	2				(他) 哲学科	
	501367	ANA311-50e00	TOPICS IN AMERICAN HISTORY	2				(他) 外国語学部	
	690364	ANA329-50e00	CRITICAL ISSUES IN AMERICAN STUDIES	2				(他) 外国語学部	
	690367	ANA332-50 j00	北米ジェンダー風土論 1	2				(他) 外国語学部	
	690368	ANA333-50 j00	北米ジェンダー風土論 2	2				(他) 外国語学部	
	ART201	ART201-65e00	INTRODUCTION TO ART HISTORY / VISUAL CULTURE 1	4				(他) 国際教養学部	
	ART250	ART250-65e00	INTRODUCTION TO ART HISTORY / VISUAL CULTURE 2	4				(他) 国際教養学部	
	教職・専科 教育法 Language Studies 注 2	209115	LGE305-16m00	PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1	2	春	池田 真	2	教職課程履修者以外履修不可、履修上の注意Ⅲ(6)参照
				PRINCIPLES OF ENGLISH LANGUAGE TEACHING 2	2	秋	*小泉 香織	2	
PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 1A				2	春	池田 真	3		
PRACTICE IN ENGLISH LANGUAGE TEACHING 2A				2	春	*石崎 陽一	3		

学科開講 教科に関する科目 Language Studies 注3	210001	LGE201-16e00	異文化コミュニケーションⅠ	2	春	*細谷 早里	2~4	○	英文法概説Ⅰ・Ⅱ以外は教職課程履修者、もしくはLanguage Studies選択者以外履修不可、履修上の注意Ⅲ(7)(8)参照
	210002	LGE202-16e00	異文化コミュニケーションⅡ	2	秋	*細谷 早里	2~4	○	
	210022	LGE213-16m00	英語圏文学と英語教育Ⅰ	2	春	*武岡 由樹子	2~4		
	210023	LGE214-16m00	英語圏文学と英語教育Ⅱ	2	秋	*武岡 由樹子	2~4		
	210033	LGE223-16m00	CLIL教育技法研究	2	春	*川上 光太	2~4		
	210009	LGE204-16m00	小学校英語教育研究	2	秋	藤田 保	2~4		
	210010	LGE205-16m00	英文法概説Ⅰ	2	春	*長瀬 浩平	2~4		
	210011	LGE206-16m00	英文法概説Ⅱ	2	秋	*長瀬 浩平	2~4		
	210012	LGE207-16m00	英語学概説Ⅰ	2	春	小河 舜	2~4		
	210013	LGE208-16m00	英語学概説Ⅱ	2	春	*久保 岳夫	2~4		
	210030	LGE220-16m00	第二言語習得論	2	秋	池田 真	2~4		
	210024	LGE215-16m00	英語学習評価論	2	春	*白井 龍馬	2~4		
	210017	LGE210-16m00	英語授業研究Ⅱ	2	秋	横本 勝也	2~4		
	210025	LGE216-16e00	教室英語スキルⅠ	2	春	*逸見 シャンタール	2~4	○	
	210026	LGE217-16e00	教室英語スキルⅡ	2	秋	*CUNNINGHAM Neal	2~4	○	
	210020	LGE211-16m00	英語と社会Ⅰ	2	春	PINNER Richard	2~4	○	
	210021	LGE212-16m00	英語と社会Ⅱ	2	秋	*種市 瑛	2~4		
	210031	LGE221-16m00	英語発音指導研究	2	春	*出崎 彰人	2~4		
	210032	LGE222-16m00	英語ICT指導スキル	2	秋	*工藤 泰三	2~4		
	その他			文学部横断型人文学プログラム			「文学部横断型人文学プログラム」を参照すること		
			他学部他学科科目（語学科目を除く）			各開講科目担当表を参照			
			全学共通科目			「視座」カテゴリーのレベル200~400番台			22年次生以降のみ2単位まで選択科目に算入可

- 注1 各コースの選択科目としては算入されない。（ただし自学科の選択科目としては算入される）
- 注2 Language Studies選択者のみ自学科専門コース選択科目に算入可能。その他のコース選択者が履修した場合は、専門コース外の自学科選択科目として算入される。
- 注3 Language Studies選択者のみ自学科専門コース選択科目に算入可能。その他のコース選択者が履修した場合は、他学部・他学科科目と同様に取り扱う。ただし、「英文法概説Ⅰ」「英文法概説Ⅱ」に限り、19年次生以降のその他のコース選択者が履修した場合は、専門コース外の自学科選択科目として算入される。
- 注4 22年次生以降は12単位まで、21年次生以前は14単位まで選択科目に算入可。